PureFlow AS1/ASX

トラフィックシェーパー
EF7100 シリーズ
WebGUI 操作説明書

第2版

・製品を適切・安全にご使用いただくために，製品をご使用になる前に，本書を必ずお読みください。
・本書に記載以外の各種注意事項は，取扱説明書（EF7101-W011J, EF7102−W011J）に記載の事項に準じますので，そちらをお読みください。
・本書は製品とともに保管してください。

アンリツ株式会社

管理番号：EF7100-W014J-2.0

安全情報の表示について

当社では人身事故や財産の損害を避けるために，危険の程度に応じて下記のようなシグナルワードを用いて安全に関する情報を提供しています。記述内容を十分理解して機器を設置および操作するようにしてください。
下記の表示およびシンボルは，そのすべてが本器に使用されているとは限りません。また，外観図などが本書に含まれるとき，製品に貼り付けたラベルなどがその図に記入されていない場合があります。

本書中の表示について

⚠ 危険	回避しなければ，死亡または重傷に至る切迫した危険があることを示します。
⚠ 警告	回避しなければ，死亡または重傷に至る恐れがある潜在的な危険があることを示します。
⚠ 注意	回避しなければ，軽度または中程度の人体の傷害に至る恐れがある潜在的危険，または，物的損害の発生のみが予測されるような危険があることを示します。

機器に表示または本書に使用されるシンボルについて

機器の内部や操作箇所の近くに，または本書に，安全上および操作上の注意を喚起するための表示があります。
これらの表示に使用しているシンボルの意味についても十分理解して，注意に従ってください。

	禁止行為を示します。丸の中や近くに禁止内容が描かれています。
	守るべき義務的行為を示します。丸の中や近くに守るべき内容が描かれています。
	警告や注意を喚起することを示します。三角の中や近くにその内容が描かれています。
	注意すべきことを示します。四角の中にその内容が書かれています。

PureFlow AS1/ASX
トラフィックシェーパー EF7100 シリーズ
WebGUI 操作説明書

2023年（令和５年）12月11日（初　版）
2025年（令和７年）３月24日（第２版）

・予告なしに本書の内容を変更することがあります。
・許可なしに本書の一部または全部を転載・複製することを禁じます。
Copyright © 2023-2025, ANRITSU CORPORATION
Printed in Japan

当社へのお問い合わせ

本製品については，安全マニュアルに記載の「本製品についてのお問い合わせ窓口」へご連絡ください。

保守契約について

保守契約を結んでいただくと種々のサービスを受けることが可能です。保守契約の詳細については，ご購入いただいた販売店にお問い合わせください。

日本国外持出しに関する注意

1. 本製品は日本国内仕様であり，外国の安全規格などに準拠していない場合もありますので，国外へ持ち出して使用された場合，当社は一切の責任を負いかねます。
2. 本製品および添付マニュアル類は，輸出および国外持ち出しの際には，「外国為替及び外国貿易法」により，日本国政府の輸出許可や役務取引許可を必要とする場合があります。また，米国の「輸出管理規則」により，日本からの再輸出には米国政府の再輸出許可を必要とする場合があります。
   本製品や添付マニュアル類を輸出または国外持ち出しする場合は，事前に必ず弊社の営業担当までご連絡ください。
   輸出規制を受ける製品やマニュアル類を廃棄処分する場合は，軍事用途等に不正使用されないよう，破砕または裁断処理していただきますようお願い致します。

商標・登録商標

Windows，Internet Explorer，Microsoft Edge は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Firefox は，Mozilla Foundation の米国およびその他の国における登録商標です。

本書の内容

この取扱説明書は，PureFlow AS1/ASX トラフィックシェーパー（以下，本装置）の WebGUI の操作方法について記述したものです。

本説明書が適用できる本装置の形名を下記に示します。

・ EF7101A，EF7102A

本装置の取扱説明書は，以下の①～④で構成されています。本書は④です。

① **取扱説明書**（EF7101-W011J，EF7102-W011J）
この説明書は，本装置の設置および取り扱いについて記述してあります。

② **コマンドリファレンス**（EF7100-W012J）
この説明書は，本装置で使用するコマンドの詳細について記述してあります。

③ **コンフィギュレーションガイド**（EF7100-W013J）
この説明書は，本装置の持つ基本的な機能およびその機能を使ってネットワークを構築する際の具体的な設定例について記述してあります。

④ **WebGUI 操作説明書**（EF7100-W014J）
この説明書は，ネットワーク接続した端末の Web ブラウザを利用して，本装置の設定や表示を行うための操作方法について記述してあります。

本製品に関連する下記文書または機能に関する文書が発行された場合，必ずご一読ください。

リリースノート
（リリースノートの発行については，ご購入いただいた販売店にお問い合わせください）

目次

本書の内容 I

第 1 章　概要 1-1

第 2 章　動作環境 2-1

第 3 章　操作方法 3-1

3.1　文中のマークについて 3-2
3.2　設定時の注意点 3-3
3.3　ログイン／ログアウト方法 3-4
3.4　画面構成 3-7
3.5　設定の流れ 3-8
3.6　チャネルの設定方法 3-9
3.7　シナリオの設定方法 3-12
3.8　フィルタの設定方法 3-16
3.9　ルールリストの設定方法 3-20
3.10　時刻関連の設定方法 3-24
3.11　フロー識別モードの設定 3-29
3.12　シナリオトラフィックグラフの表示方法 3-30
3.13　Network ポートトラフィックグラフの表示方法 3-34
3.14　コンフィギュレーションの確認および保存方法 3-37
3.15　システムログの確認方法 3-41
3.16　モジュール情報の確認方法 3-43
3.17　メンテナンス関連の方法 3-44

（空白ページ）

（空白ページ）

ここでは，WebGUI の概要について説明します。

本装置は WebGUI（Graphical User Interface）を備えています。WebGUI は，ネットワーク接続した端末の Web ブラウザを利用して，本装置の設定，表示，メンテナンスを行うアプリケーションです。
WebGUI のシステム概要図を以下に示します。
WebGUI は，システムインタフェースから接続します。システムインタフェースの設定方法は「PureFlow AS1/ASX トラフィックシェーパー EF7100 シリーズ コンフィギュレーションガイド」を参照してください。WebGUI は WebAPI と合わせて 4 セッション以内でご利用ください。

（1） Ethernet ポート経由による接続

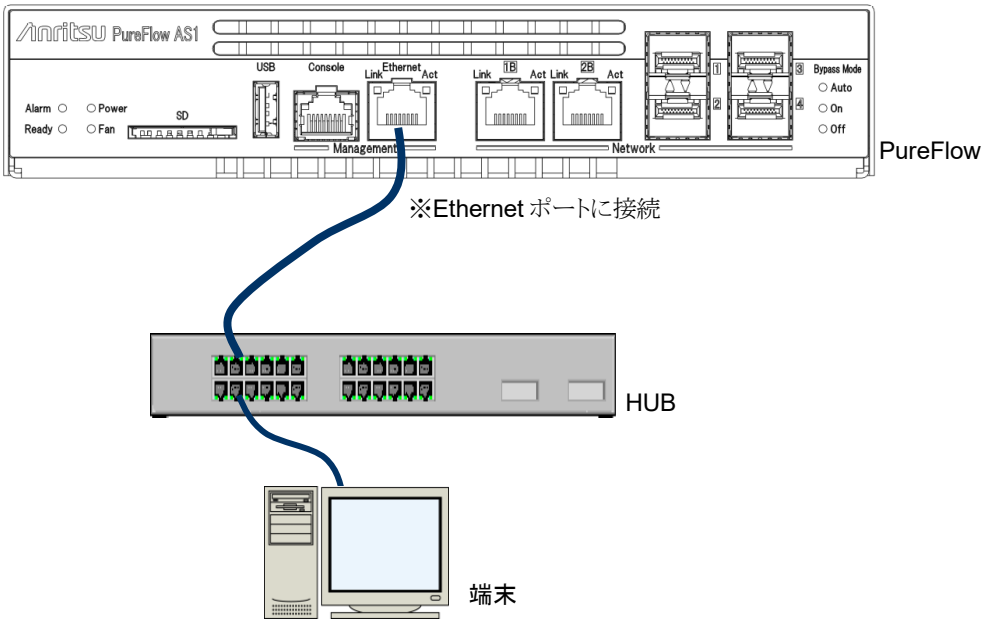


図 1.1　WebGUI システム概要図（Ethernet ポート）

（2）　Network ポート経由による接続

ネットワークバイパス機能によるバイパス接続状態では，本装置のリモート管理ができなくなります。バイパス接続状態においてもリモート管理を行いたい場合，Ethernet ポート経由で接続してください。

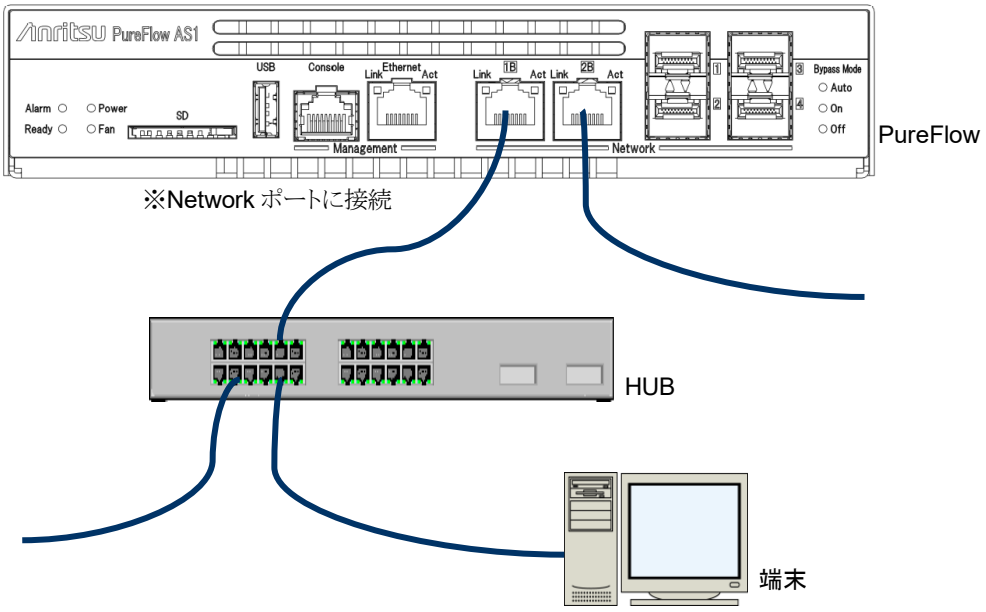


図 1.2　WebGUI システム概要図（Network ポート）

WebGUI では本装置の一部の設定・表示・メンテナンスのみ行えます。
WebGUI で設定・表示・メンテナンスできる項目を以下に示します。

- ネットワーク関連
  トラフィックコントロール機能に関する以下の設定を行います。
  チャネル設定
  シナリオ設定
  フィルタ設定
  ルールリスト設定
  フロー識別モード設定

- 管理関連
  装置内蔵時刻に関する以下の設定を行います。
  SNTP 設定
  マニュアル時刻設定

- 表示関連
  以下の表示を行います。
  シナリオトラフィックグラフ
  Network ポートトラフィックグラフ
  コンフィギュレーション
  Syslog
  モジュール情報

- メンテナンス関連
  以下のメンテナンスを行います。
  ソフトウェアアップロード
  装置再起動

（空白ページ）

ここでは，WebGUI の動作環境について説明します。

WebGUI は以下の推奨動作環境で使用してください。
推奨動作環境以外では，WebGUI の動作は保証できません。また，ウィルスに感染されていないことを確認した端末を使用してください。

- OS
  Windows® 10
  Windows® 11

- Web ブラウザ
  Microsoft Edge™ 20 以降
  Firefox® 4 以降
  Google Chrome103 以降

- CPU
  2.6 GHz 以上

- メモリ
  4 GB 以上

（空白ページ）

ここでは，WebGUI の操作方法について説明します。

3.1　文中のマークについて 3-2
3.2　設定時の注意点.....3-3
3.3　ログイン／ログアウト方法.....3-4
3.4　画面構成 3-7
3.5　設定の流れ.....3-8
3.6　チャネルの設定方法 3-9
3.7　シナリオの設定方法 3-12
3.8　フィルタの設定方法 3-16
3.9　ルールリストの設定方法 3-20
3.9.1　ルールリストグループの設定方法.....3-20
3.9.2　ルールリストエントリの設定方法.....3-22
3.10　時刻関連の設定方法.....3-24
3.10.1　SNTP の設定方法.....3-25
3.10.2　マニュアルで時刻を設定する方法 3-27
3.11　フロー識別モードの設定.....3-29
3.12　シナリオトラフィックグラフの表示方法 3-30
3.13　Network ポートトラフィックグラフの表示方法.....3-34
3.14　コンフィギュレーションの確認および保存方法 3-37
3.14.1　コンフィギュレーションの確認方法 3-37
3.14.2　コンフィギュレーションの保存方法 3-40
3.15　システムログの確認方法.....3-41
3.16　モジュール情報の確認方法.....3-43
3.17　メンテナンス関連の方法.....3-44
3.17.1　ソフトウェアアップロードの方法.....3-45
3.17.2　装置再起動の方法.....3-48

3.1　文中のマークについて

本章では，文中に以下のマークを使用しています。

『 』マーク　　：Web ブラウザ画面上に表示される名称を示しています。
【 】マーク　　：Web ブラウザ画面上でクリック（選択）する箇所を示しています。
［ ］マーク　　：参照先の名称を示しています。
「 」マーク　　：上記に該当しないその他の固有名詞を示しています。
※ マーク　　：設定を行う上で注意すべきことを示しています。
①などの数字　：文中に示した操作に対して Web ブラウザ画面上の操作を説明するために使用しています。

3.2　設定時の注意点

各設定を行った場合は，[3.14.2　コンフィギュレーションの保存方法]を参照し，必ず設定内容を保存してください。

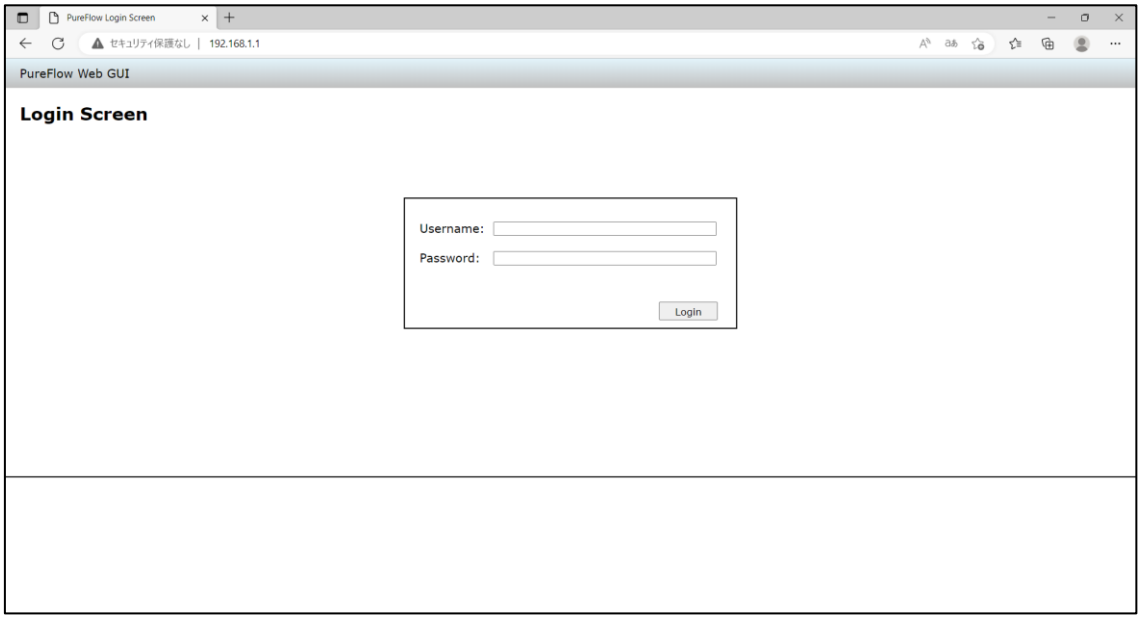
保存を行わなくても設定は反映されますが，本装置を再起動すると設定したコンフィギュレーションは消去されます。

3.3　ログイン／ログアウト方法

WebGUI を使用するためには，本装置のシステムインタフェース（IP アドレス）の設定を行う必要があります。
システムインタフェースの設定方法は［PureFlow AS1/ASX トラフィックシェーパー EF7100 シリーズ コマンドリファレンス］を参照してください。
システムインタフェースの設定完了後，Web ブラウザを起動して，システムインタフェースで設定した IP アドレスを指定します。

※ システムインタフェースのデフォルト値は 192.168.1.1 です。
IP アドレスが 192.168.1.1 の場合，以下のように指定します。
http://192.168.1.1

本装置との接続が成功すると，以下のログイン画面が表示されます。



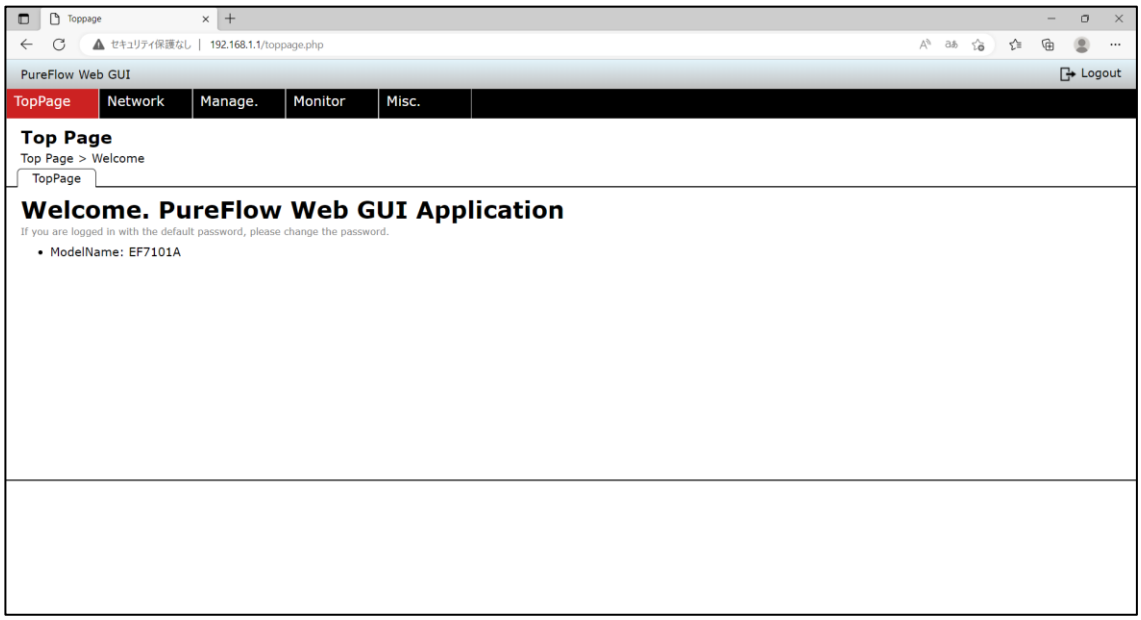
『Username』欄には「admin」を入力します。『Password』欄に本装置に設定した adminpassword を入力します。
パスワードを設定していない場合は,『Password』欄は入力しないでください。
【Login】ボタンをクリックしてログインします。

※ パスワードを設定する方法は,［PureFlow AS1/ASX トラフィックシェーパー EF7100 シリーズ コマンドリファレンス］を参照してください。
また, セキュリティ確保のため, adminpassword は必ず設定してください。

RADIUS 認証サーバでログインする場合は,『Username』欄に RADIUS サーバに登録したユーザ名を入力します。
『Password』欄に RADIUS サーバに登録した当該ユーザのパスワードを入力し,【Login】ボタンをクリックしてログインします。

※ RADIUS 認証でログインすることができるのは, サービスタイプが Administrative-User(6)のユーザです。

以下のトップページが表示されればログイン完了です。



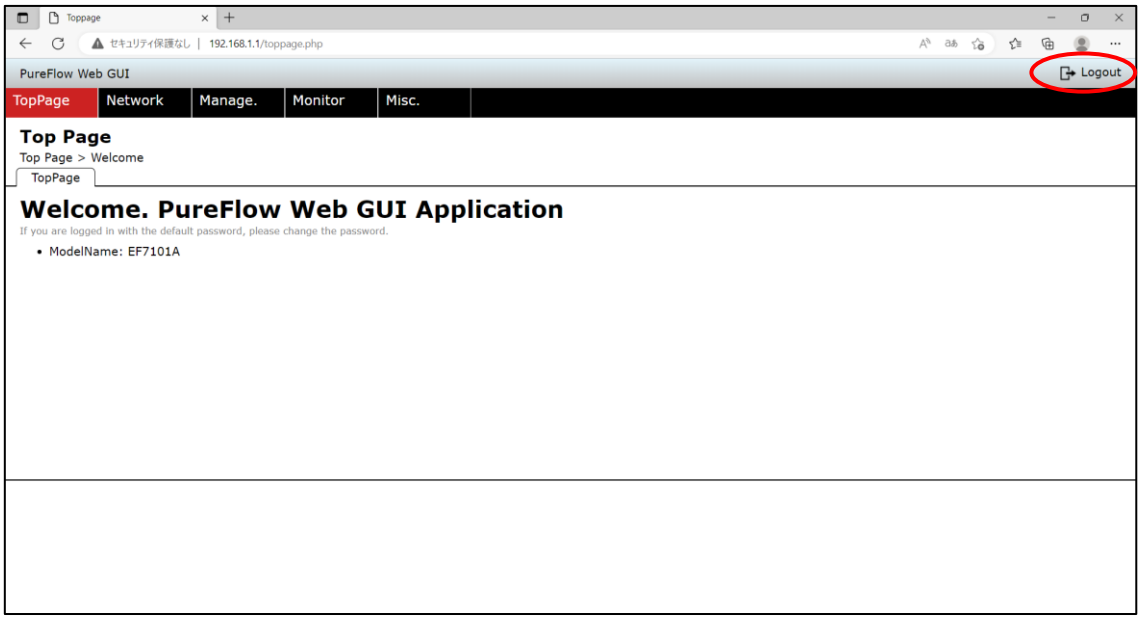
注:

本装置にチャネル, シナリオ, フィルタが最大件数登録されている場合, WebGUI のログイン, 設定, 表示などの操作に時間がかかります。

WebGUI で本装置にログインする場合は, チャネル, シナリオ, フィルタの各登録件数を 3000 件以下にしてください。

ログアウトする場合は，画面右上の【Logout】ボタンをクリックします。
5 分間操作しなかった場合でも自動的にログアウトします。
オートログアウトするまでの時間は 5 分です。

※ オートログアウトするまでの時間は変更できません。



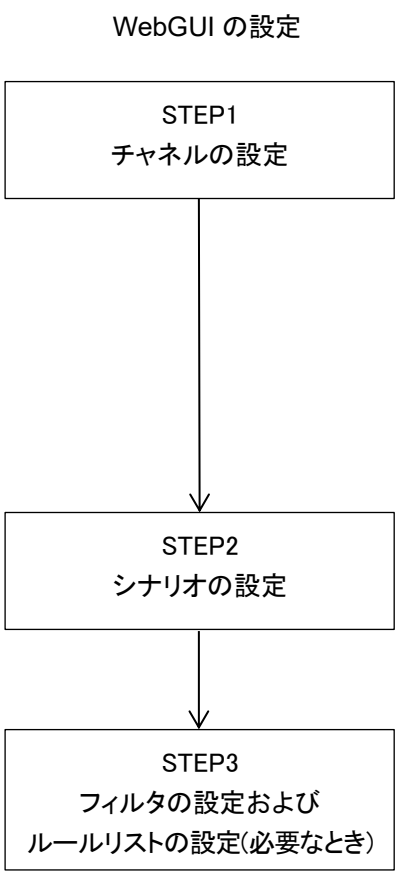
3.4　画面構成

WebGUI は画面上のタブを選択することで画面の移動を行います。
各タブに対応する画面は以下のように構成されています。

- TopPage …… WebGUI のトップページです。本装置のモデルネームとモデルナンバーが確認できます。
- Network
  - General …… ネットワークに関する一般的な設定を行う画面です。
  - Channel …… チャネルの設定を行う画面です。
  - Scenario …… シナリオの設定を行う画面です。
  - Filter / Rulelist …… フィルタとルールリストの設定を行う画面です。
- Manage.
  - Time …… 時刻に関係する設定を行う画面です。
- Monitor
  - Scenario Traffic …… 選択したシナリオのトラフィックグラフを表示する画面です。
  - Network Port Traffic … Network ポートのトラフィックグラフを表示する画面です。
- Misc.
  - Config …… 本装置のコンフィギュレーション情報を表示，またはコンフィギュレーションの保存を行う画面です。
  - Syslog …… 本装置のシステムログ情報を表示する画面です。
  - Maintenance …… 本装置のメンテナンス関連の設定を行う画面です。
  - About …… 本装置のモジュール情報を表示する画面です。

3.5　設定の流れ

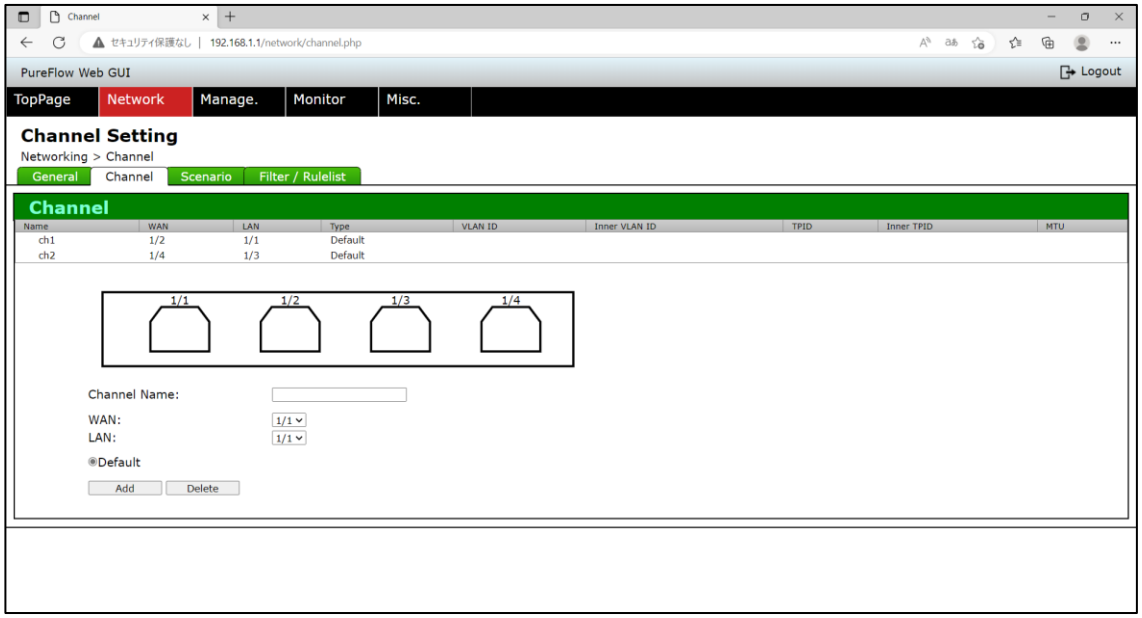
以下に各設定の流れを示します。
WebGUI は，本装置の CLI（Command Line Interface）と連動しているため，コマンド仕様を理解することで WebGUI の設定もスムーズに行えます。
コマンド仕様は［PureFlow AS1/ASX トラフィックシェーパー EF7100 シリーズ コマンドリファレンス］を参照してください。



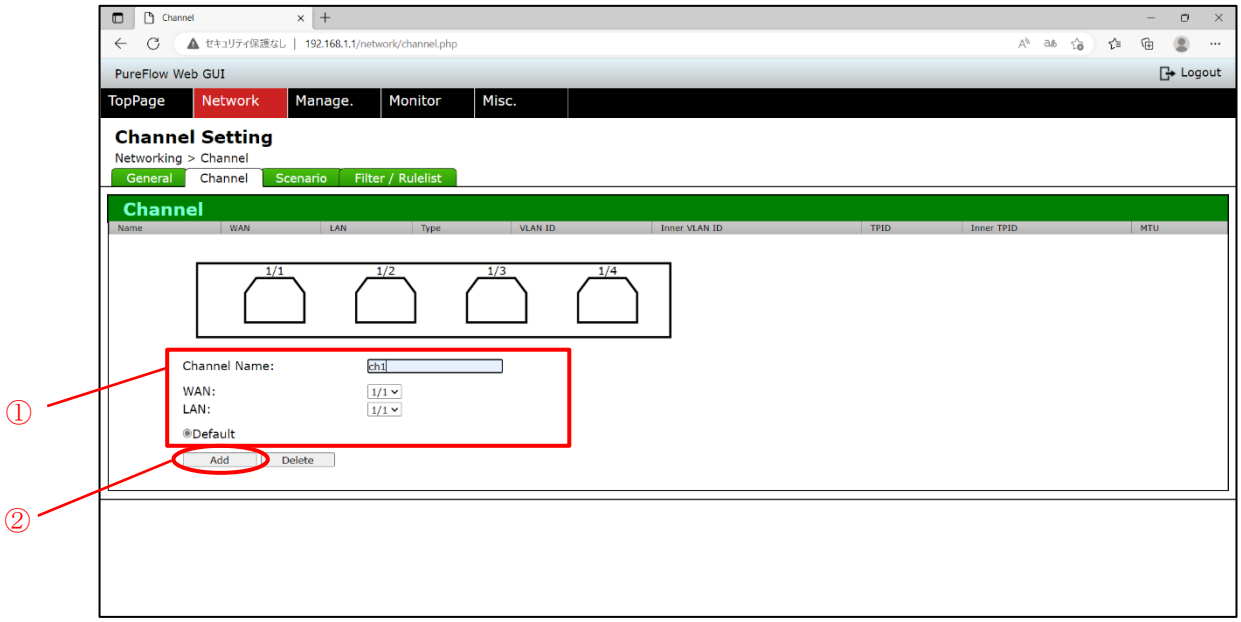
該当する CLI コマンド	説明
add channel delete channel show channel	Network ポートのチャネルを登録します。 チャネルは，LAN 側の Network ポートと WAN 側の Network ポートを組み合わせたものです。
add scenario update scenario delete scenario show scenario	トラフィックアトリビュート（シナリオ）を設定します。
add filter delete filter show filter add rulelist group add rulelist entry delete rulelist group delete rulelist entry show rulelist	パケットを分類しトラフィックを抽出するルール（フィルタ）を設定します。 STEP2 で設定したシナリオに対してフィルタを設定します。 また，必要に応じて，トラフィックを抽出するルールをグループ化したルールリストを作成し，フィルタとして設定します。

3.6　チャネルの設定方法

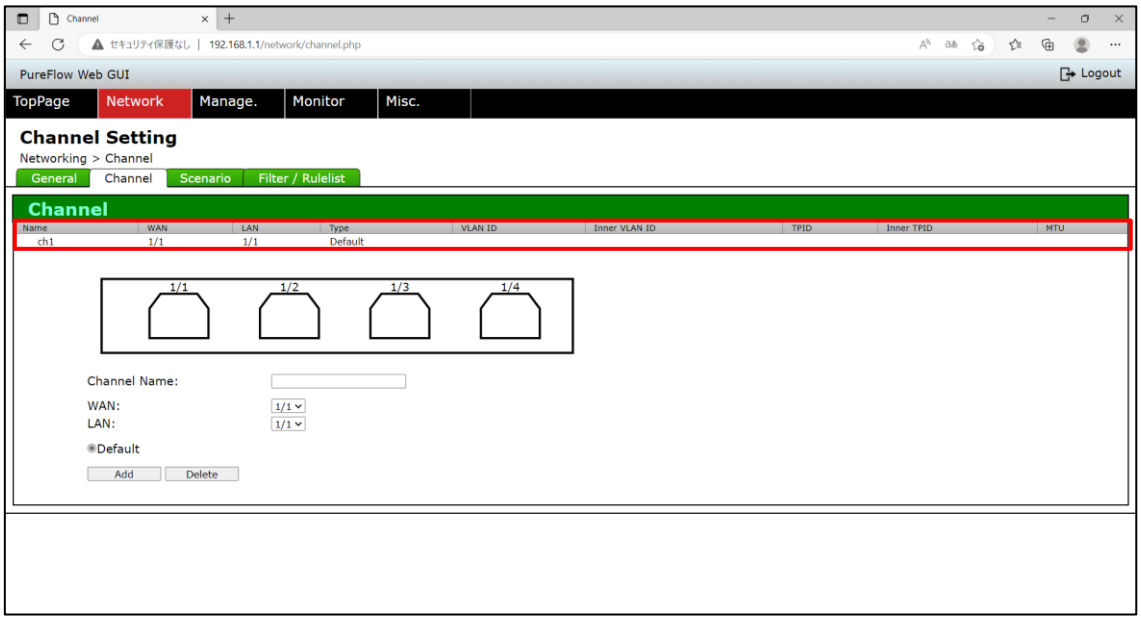
チャネルを設定します。
画面左上の【Network】タブにマウスカーソルを合わせます。
Network メニューがプルダウン表示されるので，【Channel】タブをクリックします。
以下のように，Channel 設定画面が表示されます。



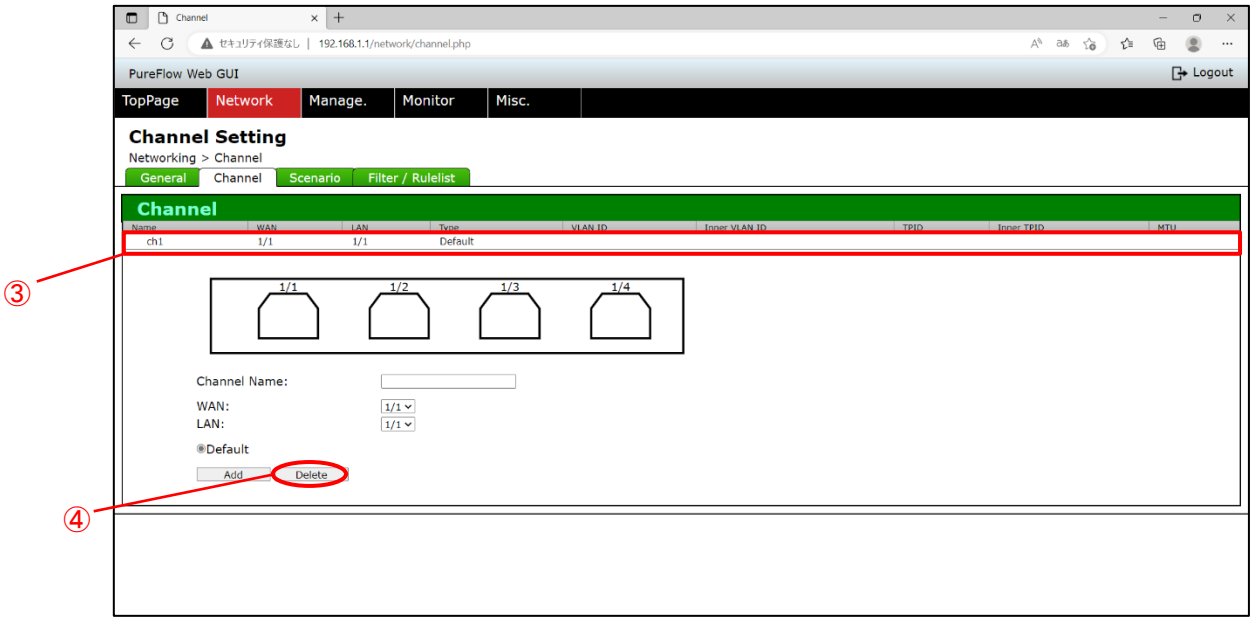
画面左の欄に①パラメータを入力および選択して，②【Add】ボタンをクリックします。



以下のように，チャネルが追加されていることを確認します。



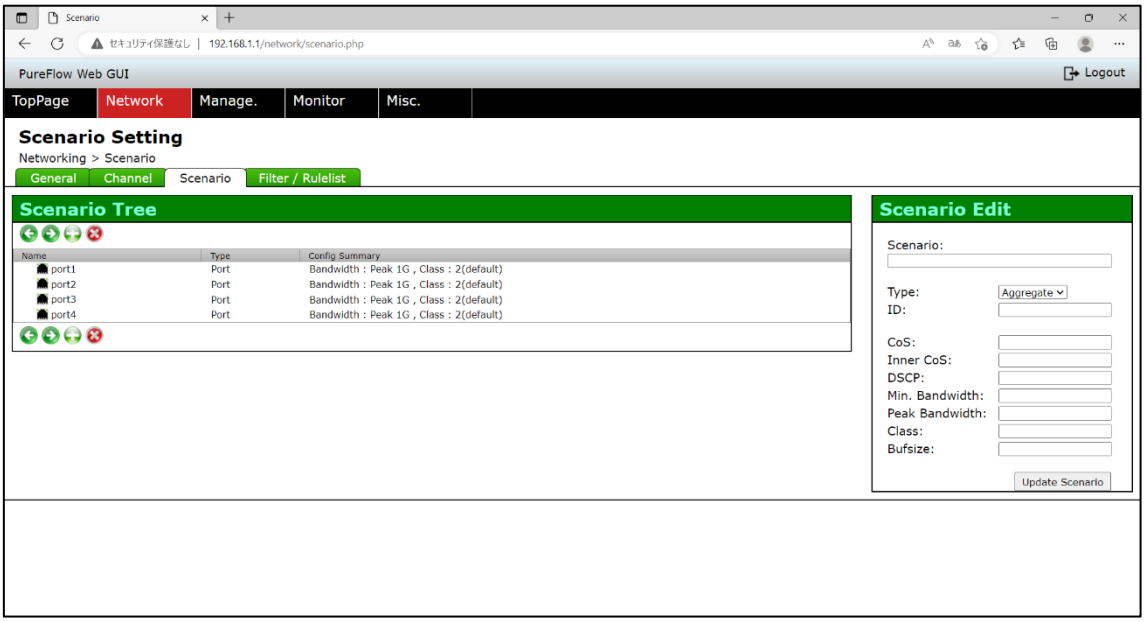
チャネルを削除する場合は，③該当のチャネルを選択し，
④【Delete】ボタンをクリックします。



3.7　シナリオの設定方法

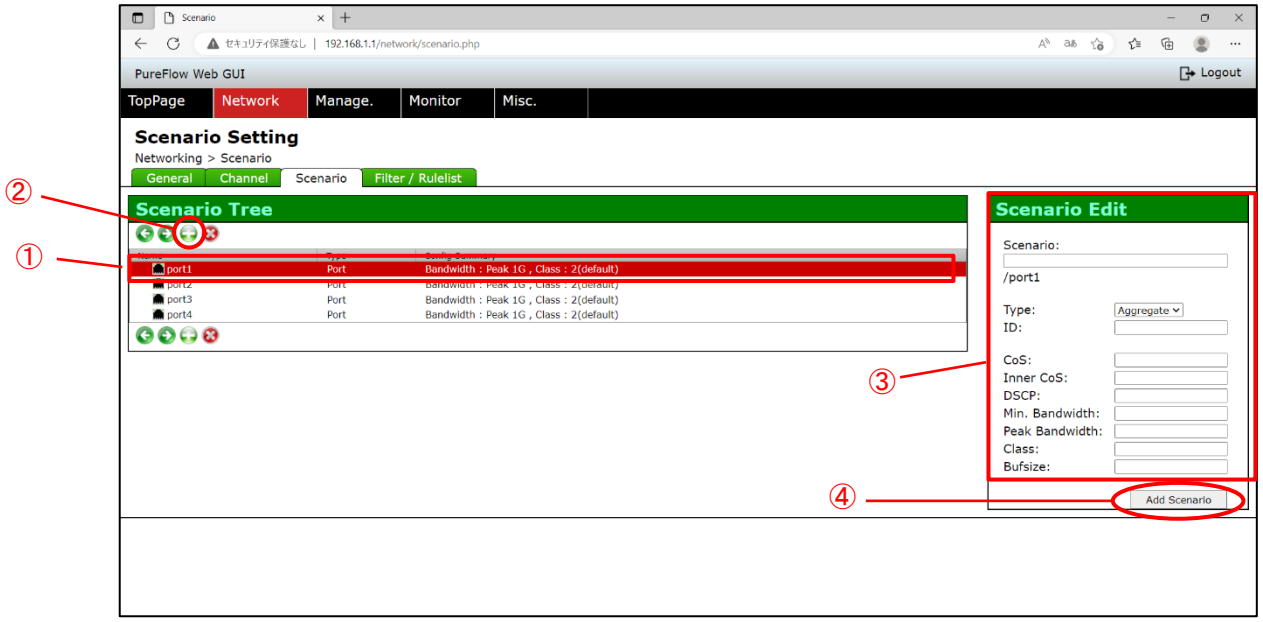
シナリオを設定します。

画面左上の【Network】タブにマウスカーソルを合わせます。
Network メニューがプルダウン表示されるので，【Scenario】タブをクリックします。
以下のように，Scenario 設定画面が表示されます。

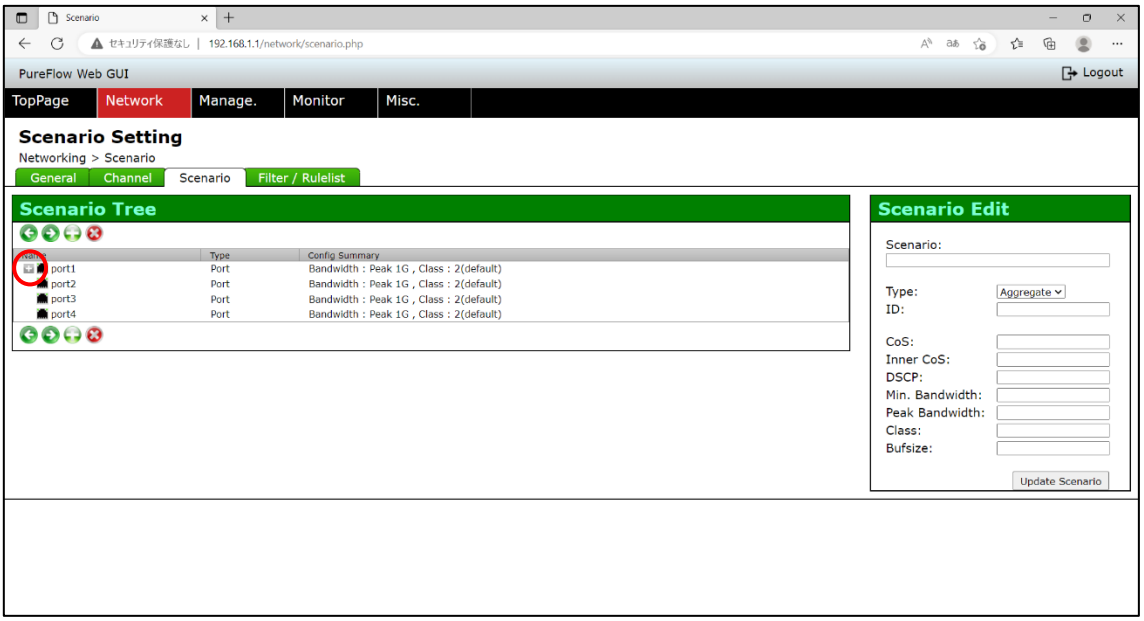


各ポートには，デフォルトシナリオとして第 1 階層のシナリオが設定されています。
ここでは例として，port1 に対して第 2 階層にシナリオを追加します。
画面左の『Scenario Tree』ウィンドウ内の①『port1』を選択して，②緑色の【＋】ボタンをクリックします。
画面右の『Scenario Edit』ウィンドウ内で③各パラメータを入力し，④【Add Scenario】ボタンをクリックします。

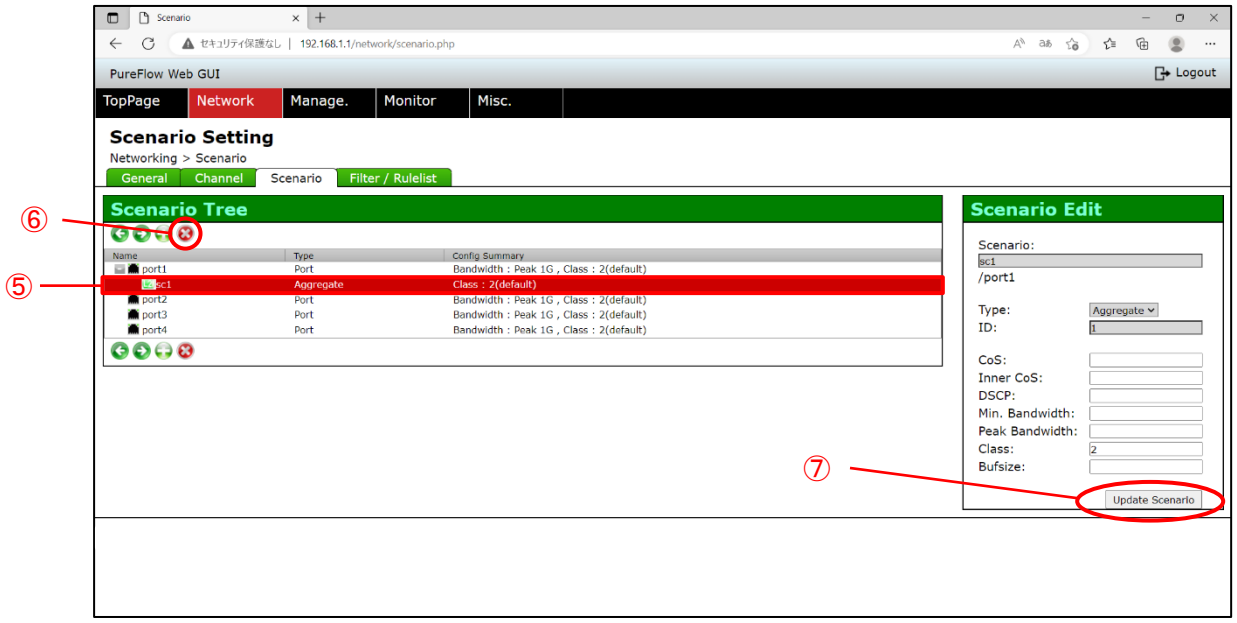
選択できる Type には，Aggregate，Individual，Discard，Forward があります。



以下のように,『Scenario Tree』ウィンドウ内の第一階層のシナリオに，下位階層のシナリオの有無を示す灰色の【+】ボタンが表示されていることを確認します。



灰色の【+】ボタンをクリックすると下位階層のシナリオが表示され，該当のシナリオを選択すると，『Scenario Edit』ウィンドウ内でシナリオのパラメータを確認できます。
シナリオを削除，またはパラメータの変更をする場合は，⑤該当のシナリオを選択します。
シナリオを削除する場合は，⑥赤色の【×】ボタンをクリックします。
パラメータを変更する場合は，該当のパラメータを変更した後，⑦【Update Scenario】ボタンをクリックします。

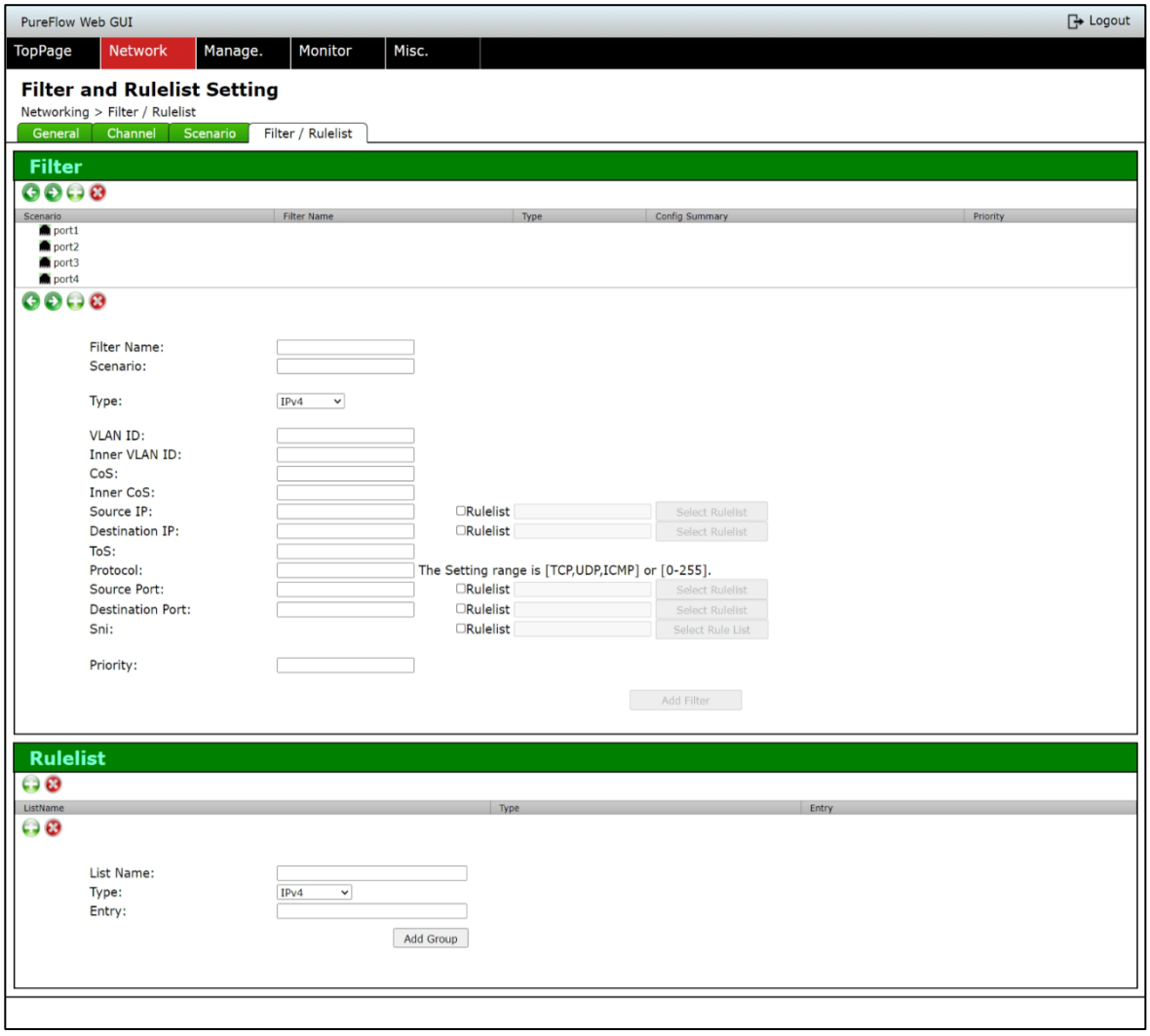


3.8　フィルタの設定方法

フィルタを設定します。

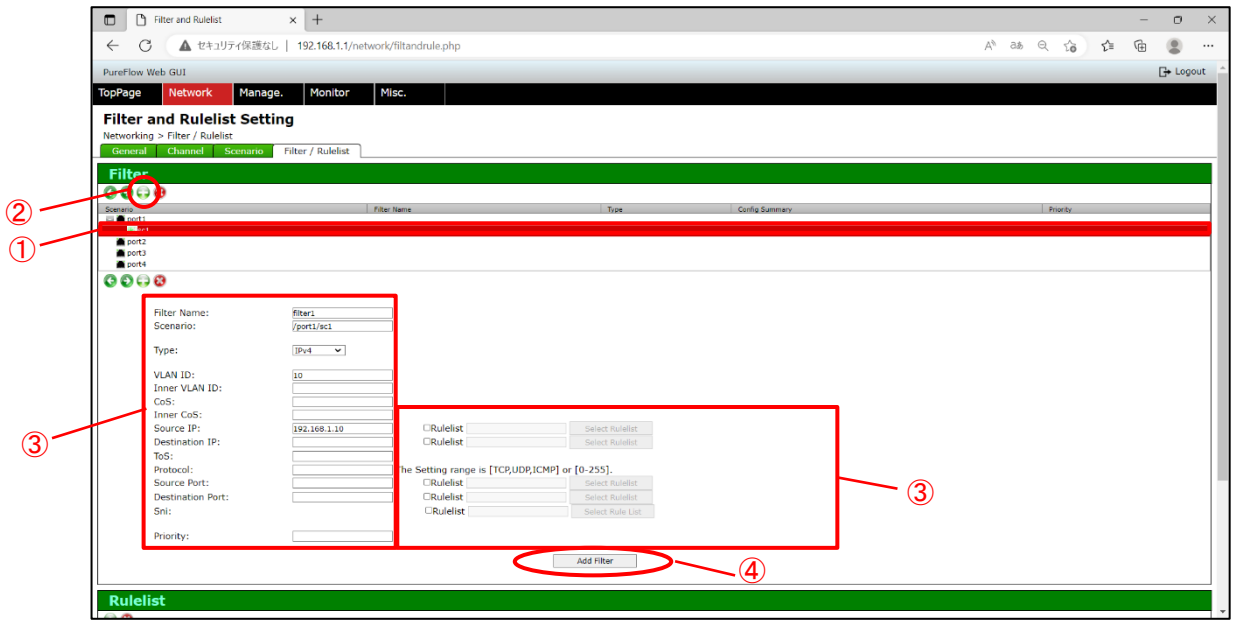
※ フィルタを設定する場合，事前にシナリオを設定してください。

画面左上の【Network】タブにマウスカーソルを合わせます。
Network メニューがプルダウン表示されるので，【Filter / Rulelist】タブをクリックします。
以下のように，Filter / Rulelist 設定画面が表示されます。

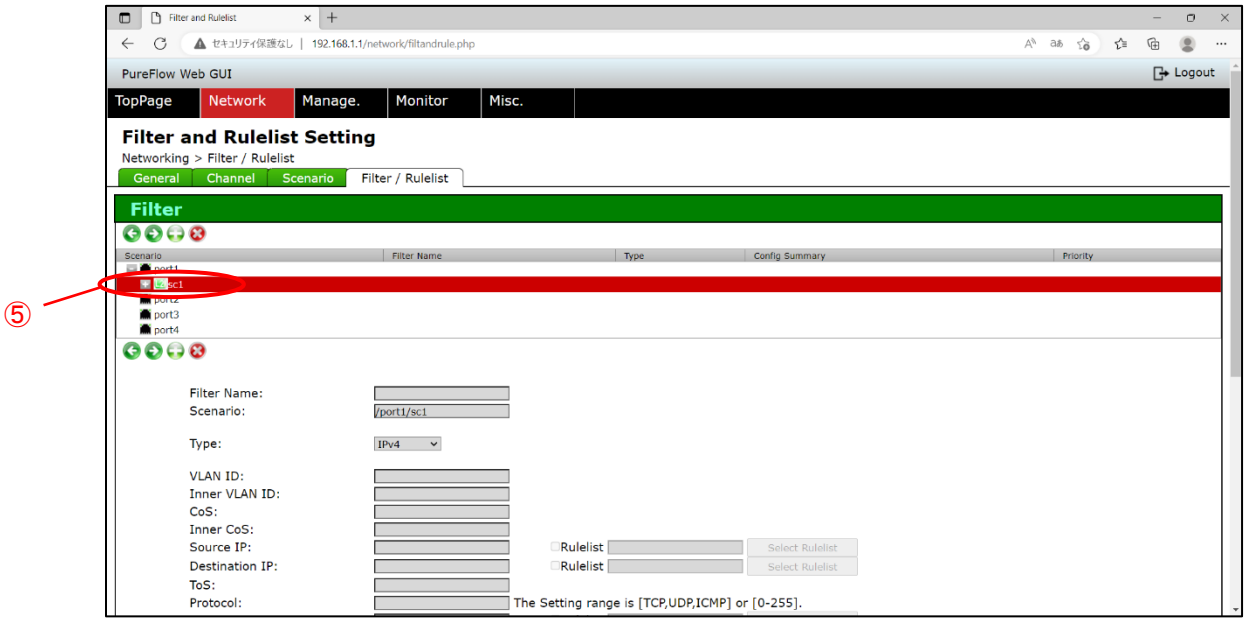


『Filter』ウィンドウ内で①フィルタを設定したいシナリオを選択して，②緑色の【＋】ボタンをクリックします。
『Filter』ウィンドウ内で③各パラメータを入力し，④【Add Filter】ボタンをクリックします。
パラメータとしてルールリストを使用する場合は，③ルールリストを選択し，④【Add Filter】ボタンをクリックします。

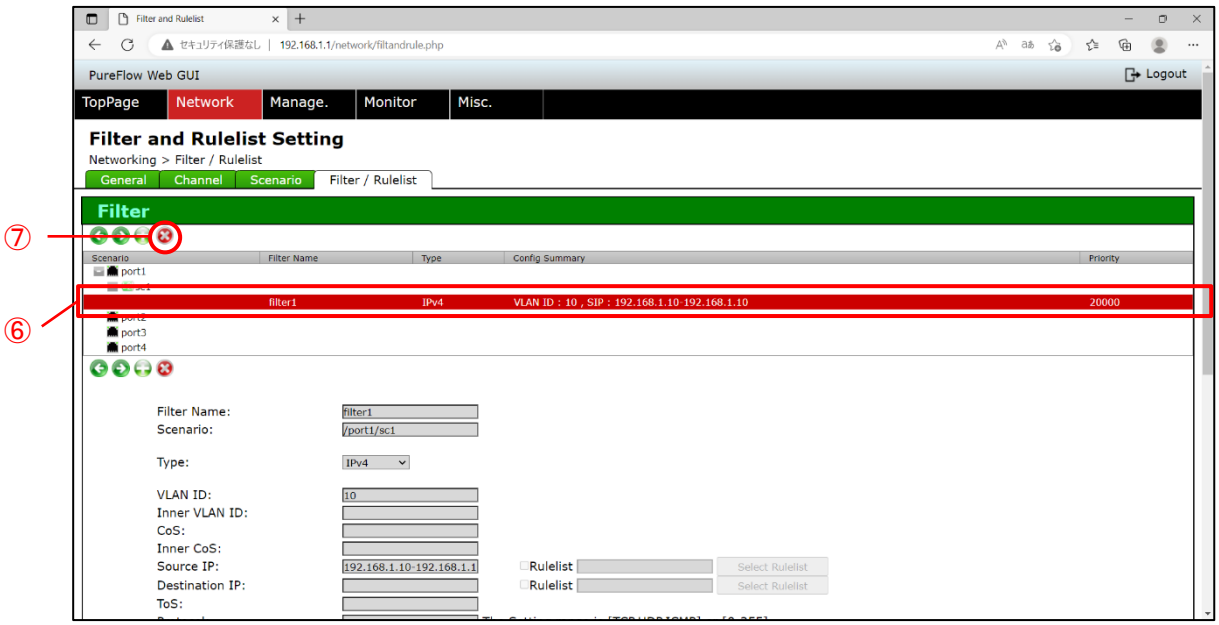
ルールリストの設定方法は後述の[3.9　ルールリストの設定方法]を参照してください。



以下のように，該当のシナリオにフィルタの有無を示す⑤灰色の【+】ボタンが表示されていることを確認します。



灰色の【+】ボタンをクリックするとシナリオに紐付けられているフィルタが表示され，該当のフィルタを選択すると，フィルタのパラメータを確認できます。
フィルタを削除，またはパラメータの変更をする場合は，⑥該当のフィルタを選択します。
削除する場合は，⑦赤色の【×】ボタンをクリックします。

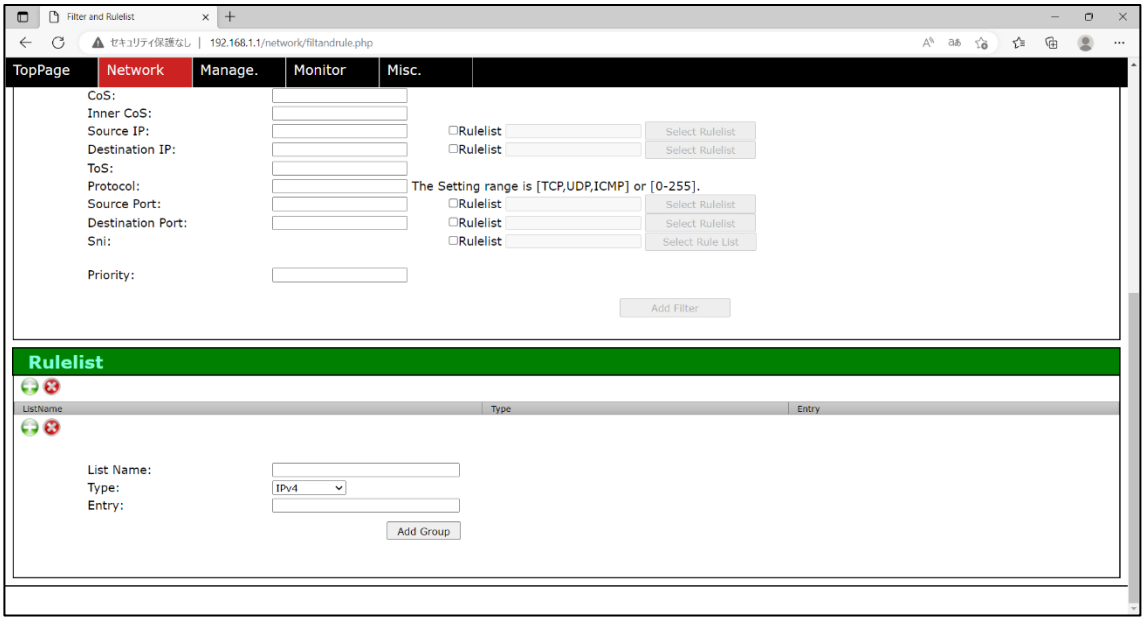


3.9　ルールリストの設定方法

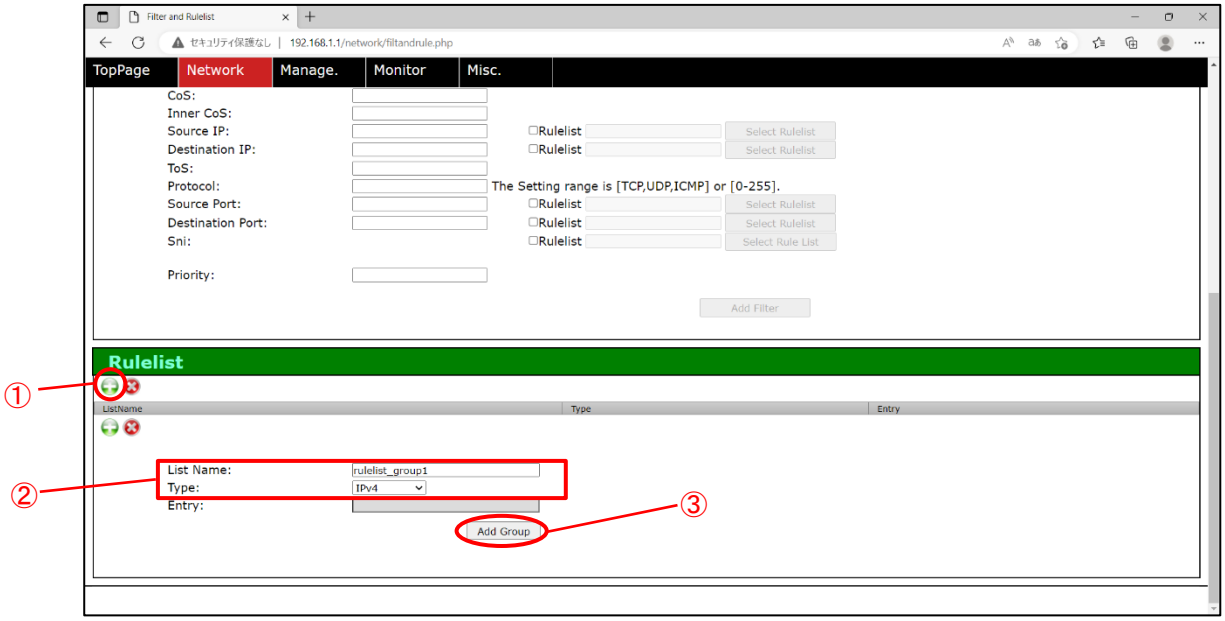
ルールリストを設定します。
ルールリストはルールリストグループとルールリストエントリに分けて設定します。

3.9.1　　ルールリストグループの設定方法

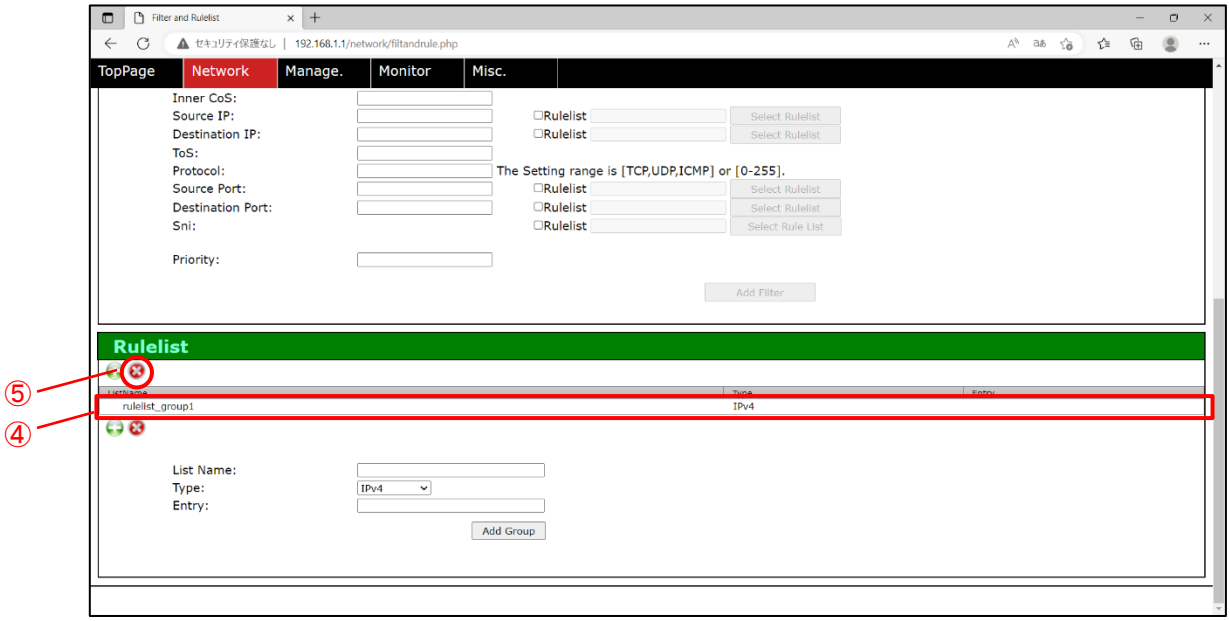
ルールリストグループを設定します。
画面左上の【Network】タブにマウスカーソルを合わせます。
Network メニューがプルダウン表示されるので,【Filter / Rulelist】タブをクリックします。
以下のように, Filter / Rulelist 設定画面が表示されます。



『Rulelist』ウィンドウ内の①緑色の【+】ボタンをクリックします。
②『List Name』欄に任意の名称を入力，『Type』を選択し，③【Add Group】ボタンをクリックします。



以下のように，設定したルールリストグループが表示されていることを確認します。
ルールリストグループを削除する場合は，④該当のルールリストグループを選択し，⑤赤色の「×」ボタンをクリックします。

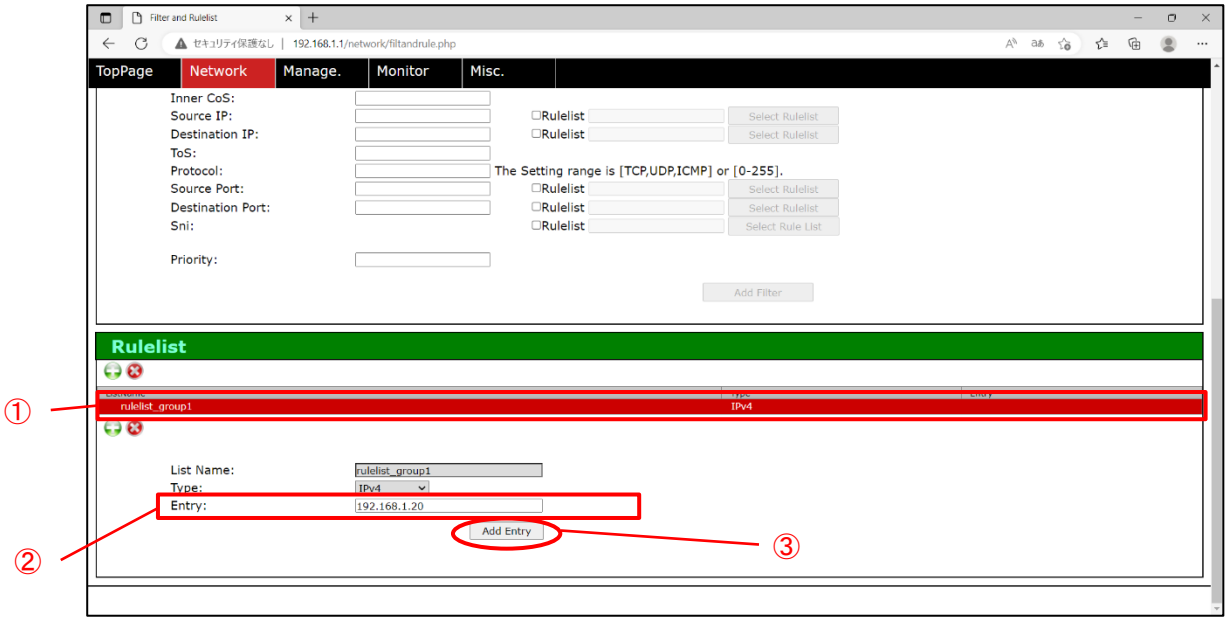


3.9.2　ルールリストエントリの設定方法

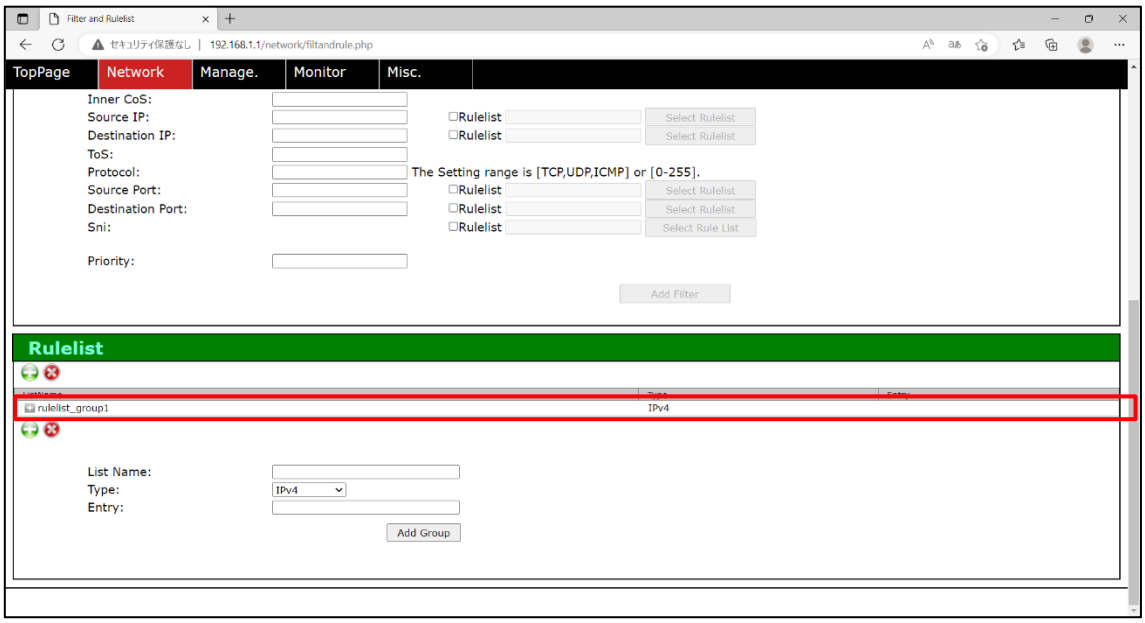
ルールリストエントリを設定します。

※ ルールリストエントリを設定する場合，事前にルールリストグループを設定してください。

①該当のルールリストグループを選択し，②『Entry』欄に IP アドレス，ポート番号，ドメイン名を入力し，③【Add Entry】ボタンをクリックします。



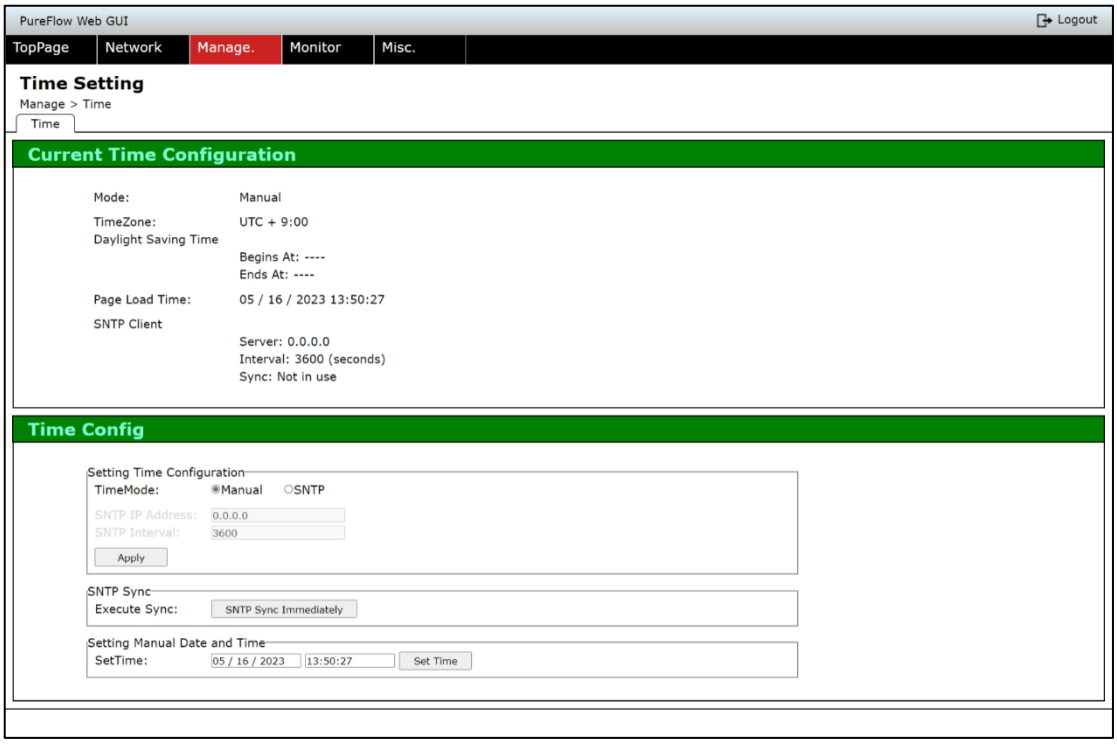
以下のように，該当のルールリストグループに，ルールリストエントリの有無を示す灰色の【+】ボタンが表示されていることを確認します。



灰色の「+」ボタンをクリックすると，そのルールリストグループに設定されているルールリストエントリのパラメータを確認できます。
ルールリストエントリを削除する場合は，ルールリストグループと同じように，該当のルールリストエントリを選択し，赤色の【×】ボタンをクリックします。

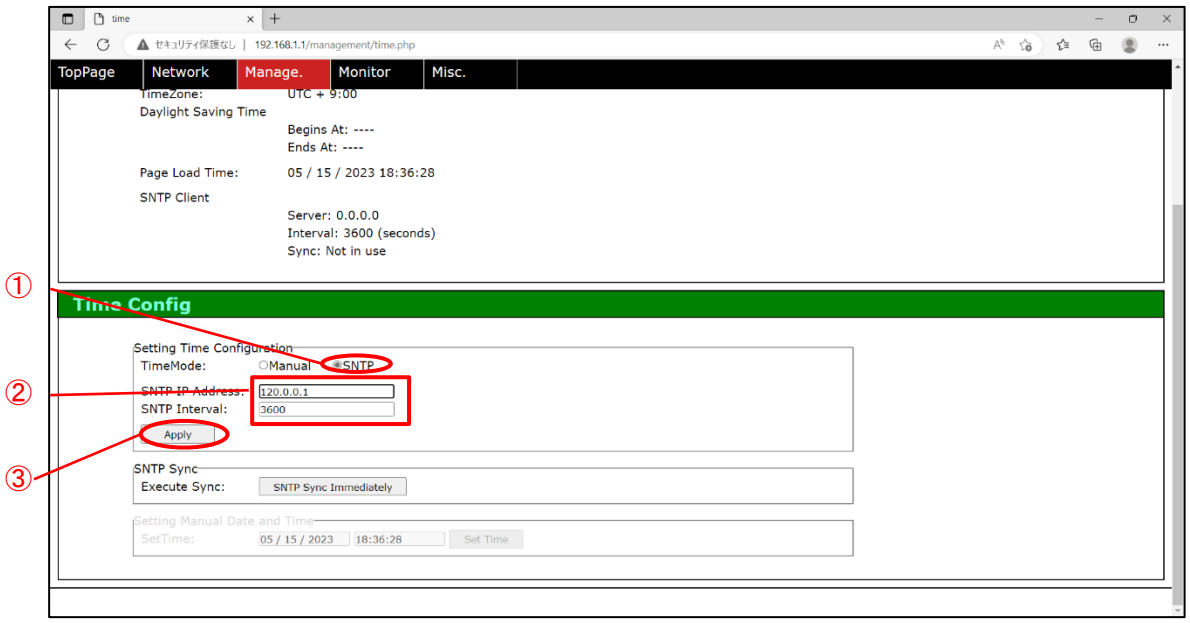
3.10 時刻関連の設定方法

時刻に関連する設定を行います。
画面左上の【Manage.】タブにマウスカーソルを合わせます。
Manage.メニューがプルダウン表示されるので，【Time】タブをクリックします。
以下のように，Time 設定画面が表示されます。

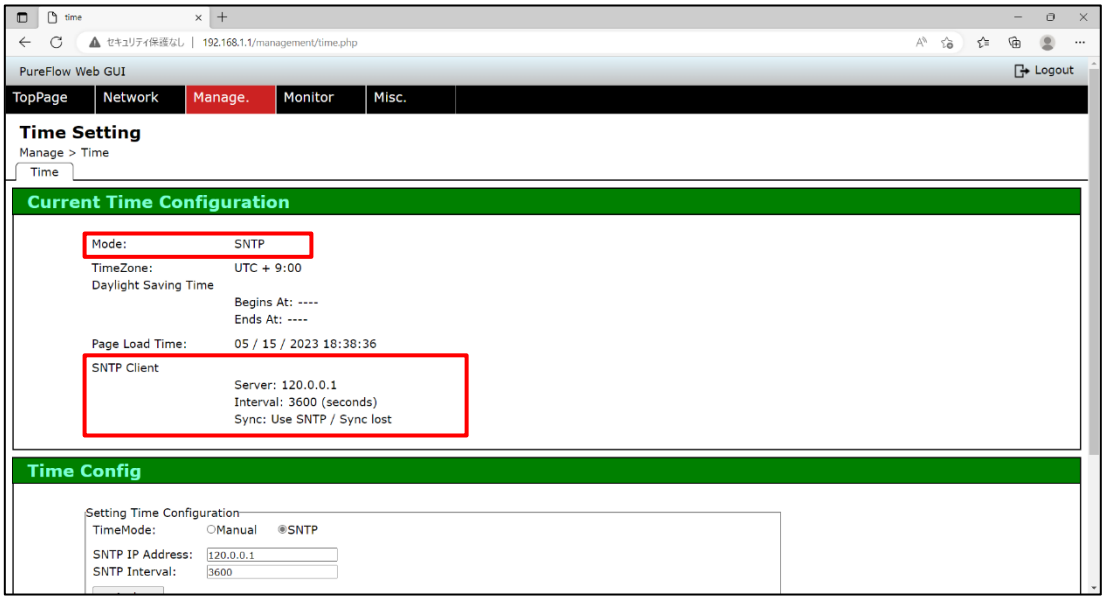


3.10.1　SNTPの設定方法

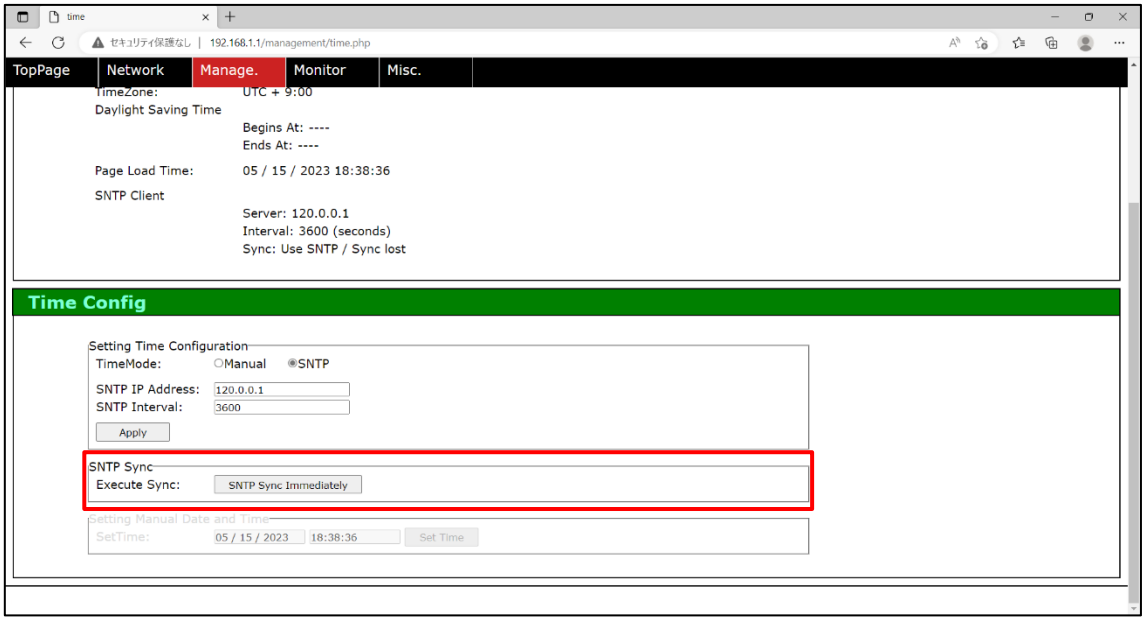
SNTP を設定します。
『Time Config』ウィンドウ内の『Time Mode』で①『SNTP』を選択します。
『SNTP IP Address』と『SNTP Interval』に②それぞれパラメータを入力し，
③【Apply】ボタンをクリックします。



以下のように，『Current Time Configuration』内の『Mode』が『SNTP』となっており，『SNTP Client』のパラメータが変更されていることを確認します。



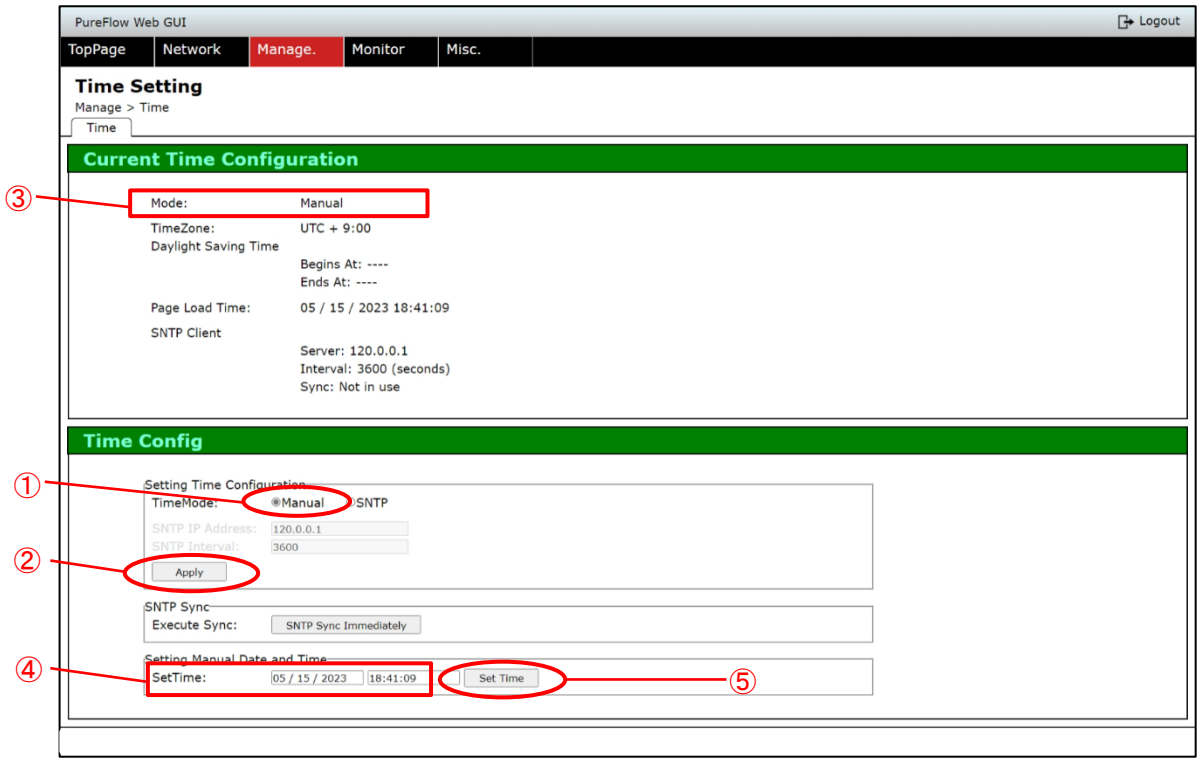
SNTP は設定した『SNTP Interval』の間隔で自動的に SNTP サーバと同期を行いますが，『Time Config』ウィンドウ内の『Execute Sync』欄にある，【SNTP Sync Immediately】ボタンをクリックすることで，任意のタイミングで SNTP サーバと同期を行うことも可能です。



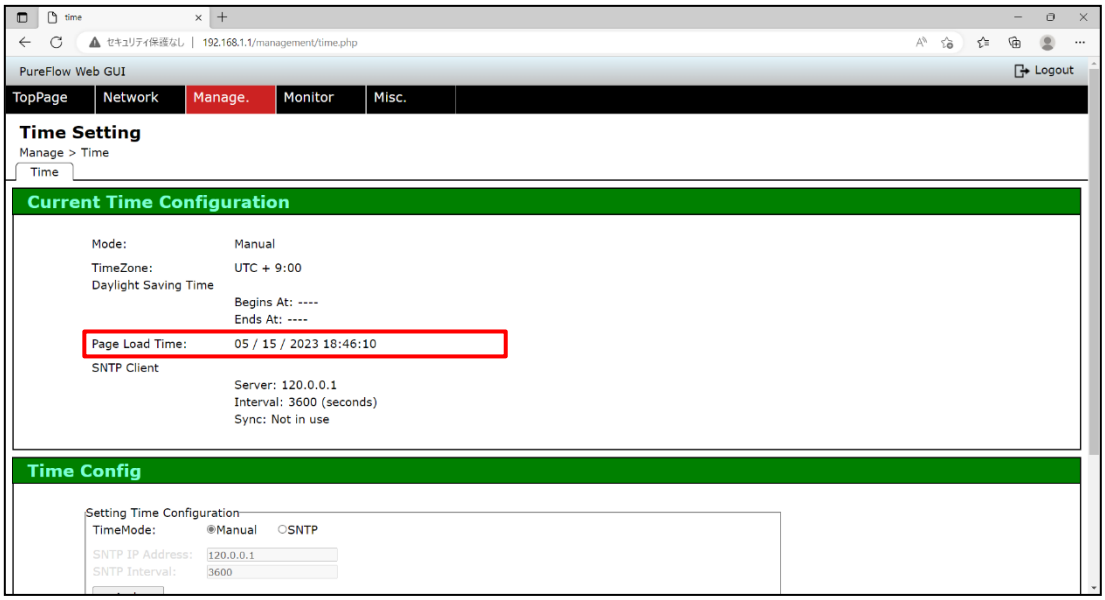
3.10.2　マニュアルで時刻を設定する方法

マニュアルで時刻を設定します。
『Time Config』ウィンドウ内の『Time Mode』で①『Manual』を選択し，②【Apply】ボタンをクリックします。
『Current Time Configuration』内の『Mode』が③『Manual』となっていることを確認します。
『Time Config』ウィンドウ内の『SetTime』欄に④時刻を入力し，⑤【Set Time】ボタンをクリックします。

日時は Mon/Day/Year の順にスラッシュ(/)で区切ります。また，時刻は時:分:秒の順にコロン(:)で区切ります。

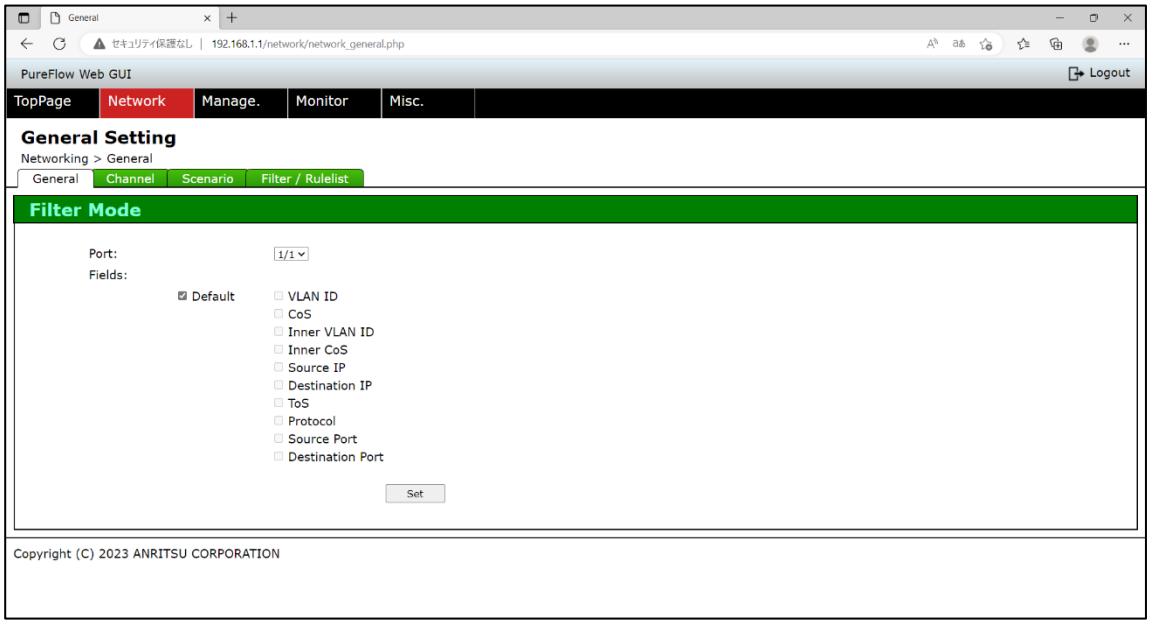


以下のように,『Current Time Configuration』内の『Page Load Time』が設定した時刻になっていることを確認します。

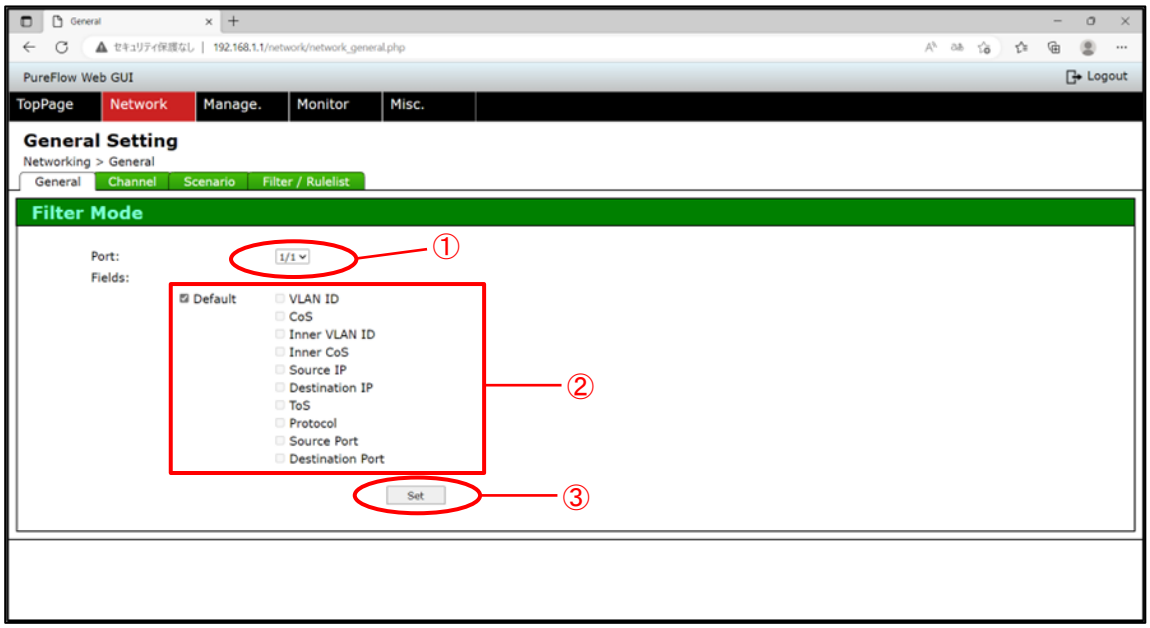


3.11 フロー識別モードの設定

フロー識別モードを設定します。
画面左上の【Network】タブにマウスカーソルを合わせます。
Network メニューがプルダウン表示されるので，【General】タブをクリックします。
以下のように，General 設定画面が表示されます。

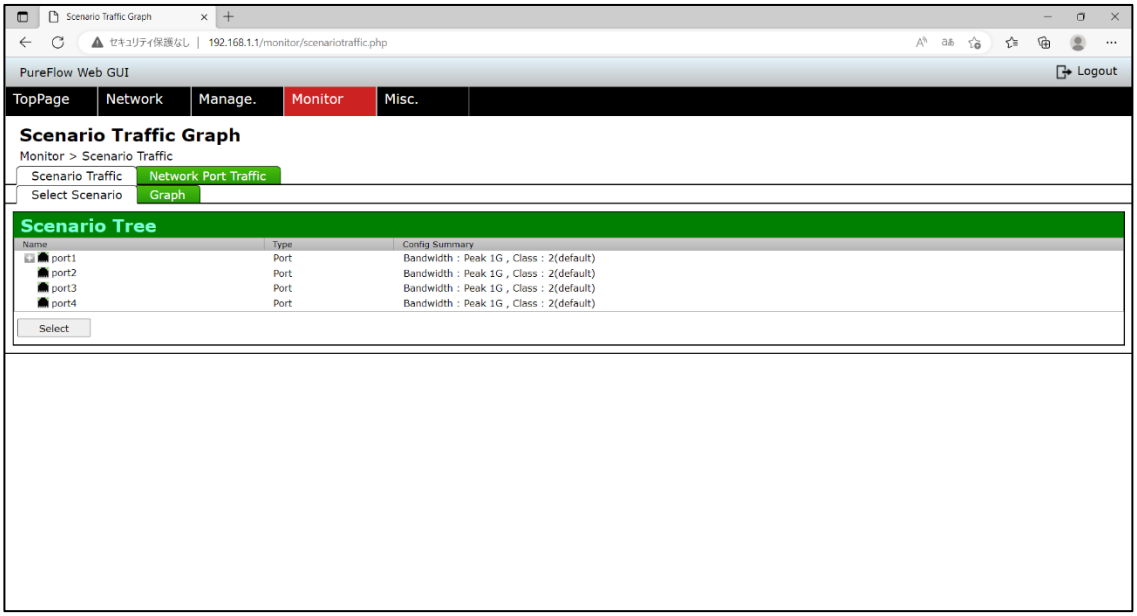


『Filter Mode』ウィンドウ内で①Network ポートのスロット位置とポート番号を指定し，②フローを識別するフィールドを選択します。③【Set】ボタンをクリックすると，フロー識別モードが設定されます。

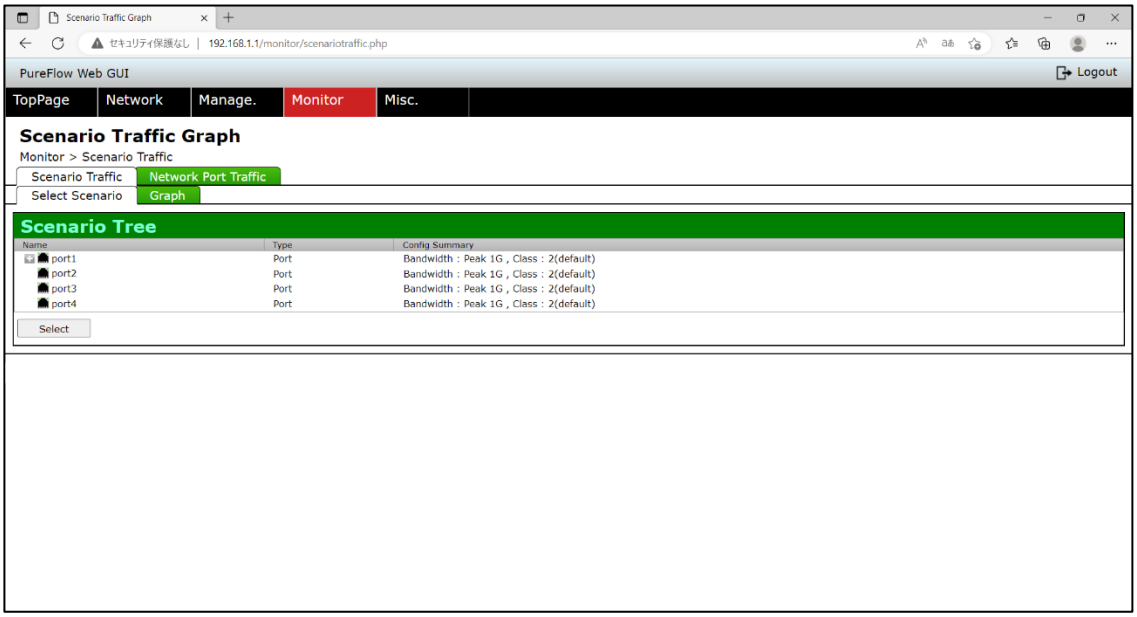


3.12 シナリオトラフィックグラフの表示方法

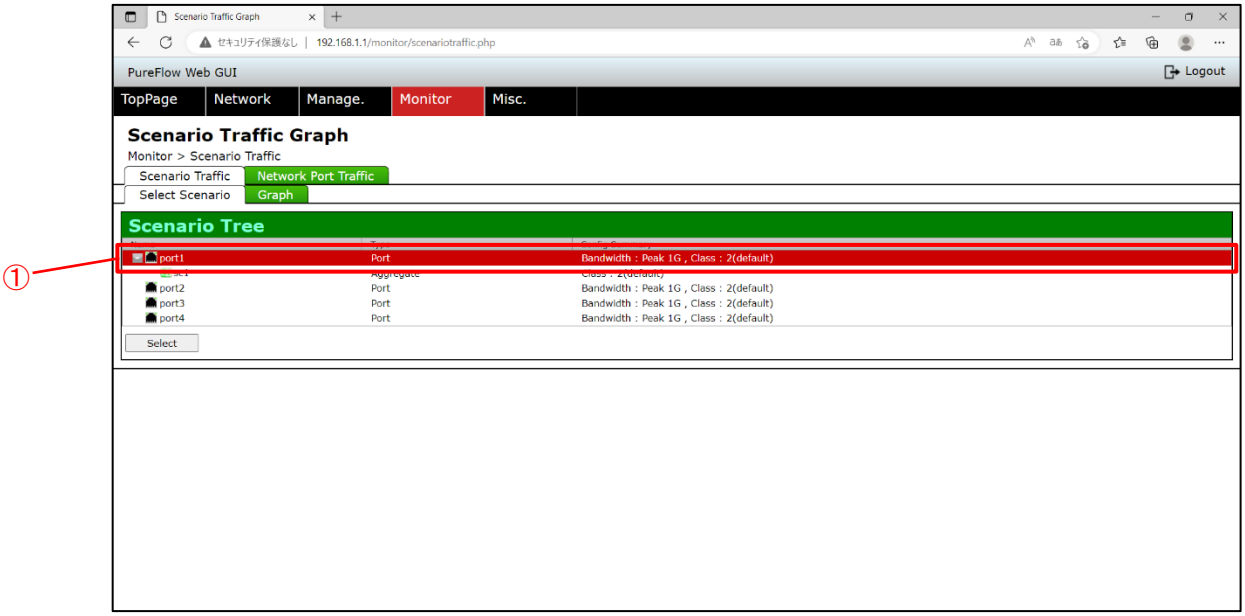
シナリオトラフィックグラフを表示します。
画面左上の【Monitor】タブにマウスカーソルを合わせます。
Monitor メニューがプルダウン表示されるので，【Scenario Traffic】タブをクリックします。
以下のように，Scenario Traffic グラフ画面が表示されます。



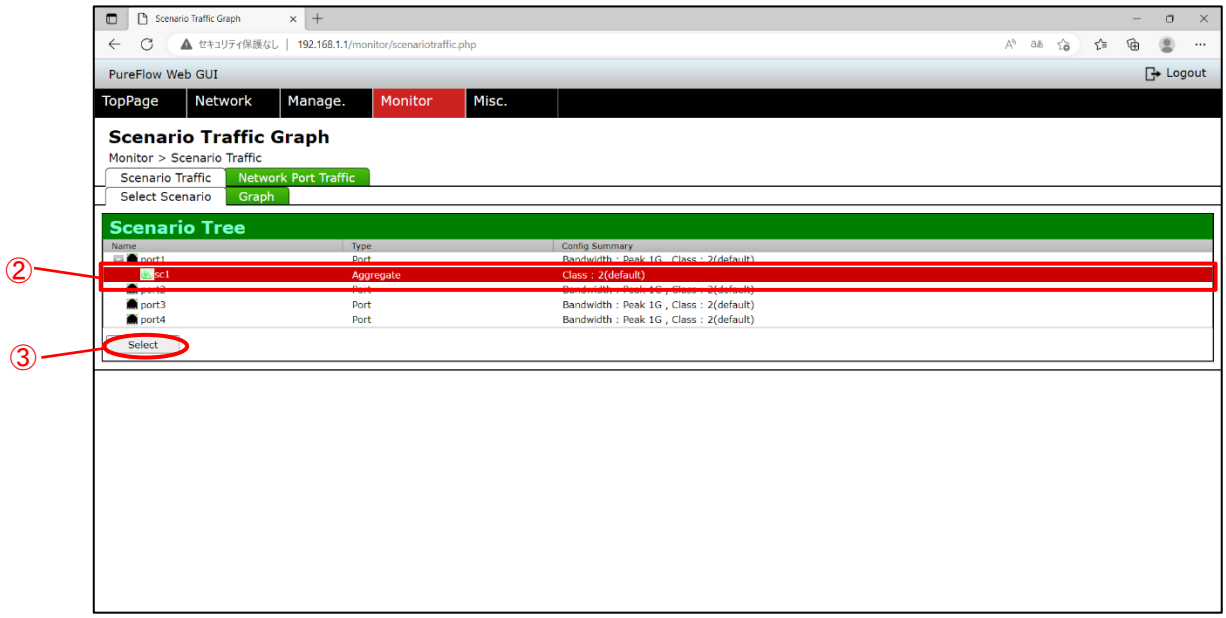
まず，グラフ表示するシナリオを選択します。
『Scenario Traffic』ウィンドウ内の【Select Scenario】タブをクリックします。
以下のように，Scenario 選択画面が表示されます。



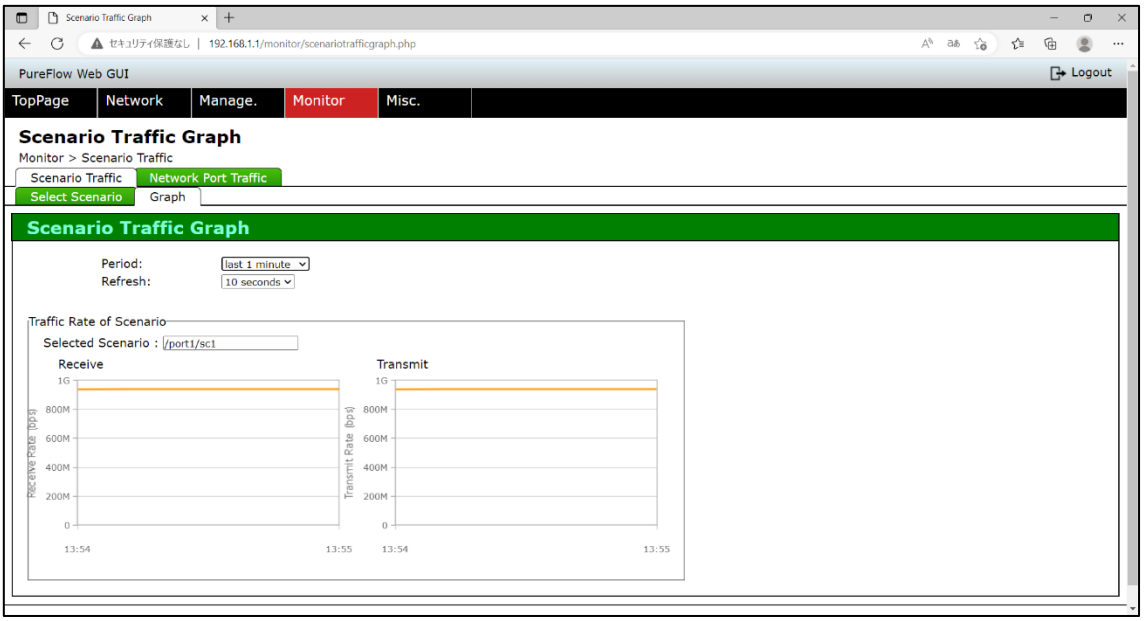
ここでは例として，port1 の第 2 階層のシナリオを選択します。
『Scenario Tree』ウィンドウ内の①『port1』の灰色の【+】ボタンをクリックして第 2 階層のシナリオを表示します。



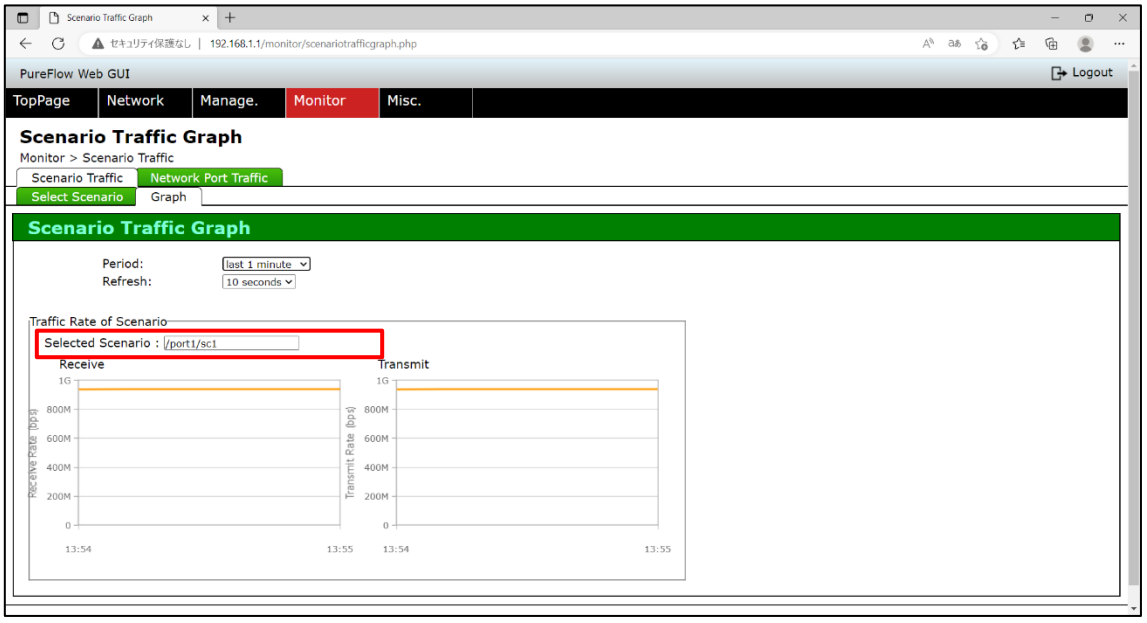
②該当のシナリオを選択して，③【Select】ボタンをクリックします。



『Scenario Traffic』ウィンドウ内の【Graph】タブをクリックします。
以下のように，送信／受信トラフィックレートのグラフが表示されます。



以下のように，『Scenario Traffic Graph』ウィンドウ内の『Selected Scenario』が，
選択したシナリオに変更されていることを確認します。



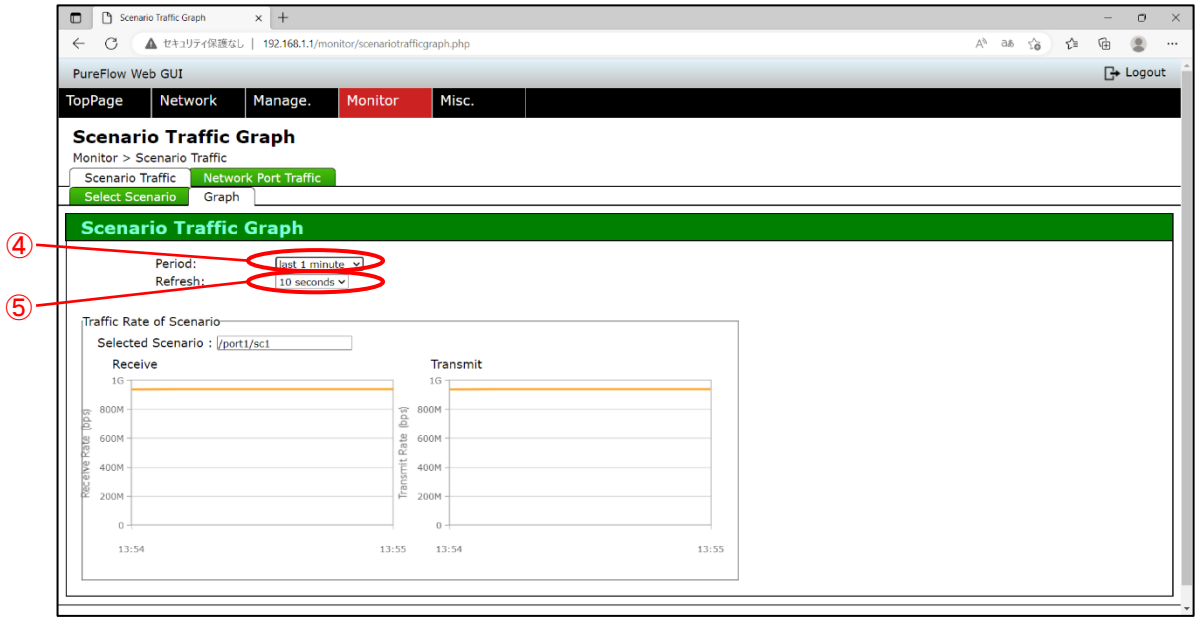
また,『Traffic Rate of Scenario』ウィンドウ内の④『Period』を変更することでグラフ表示範囲を,⑤『Refresh』を変更することでグラフの描画周期を変更することができます。なお,グラフは『Period』や『Refresh』の指定に関係なく,10 秒平均(固定)のレート値で描画されます。

④『Period』の選択は以下の 3 種類になります。

・last 1 minute
・last 5 minutes (default)
・last 1 hour

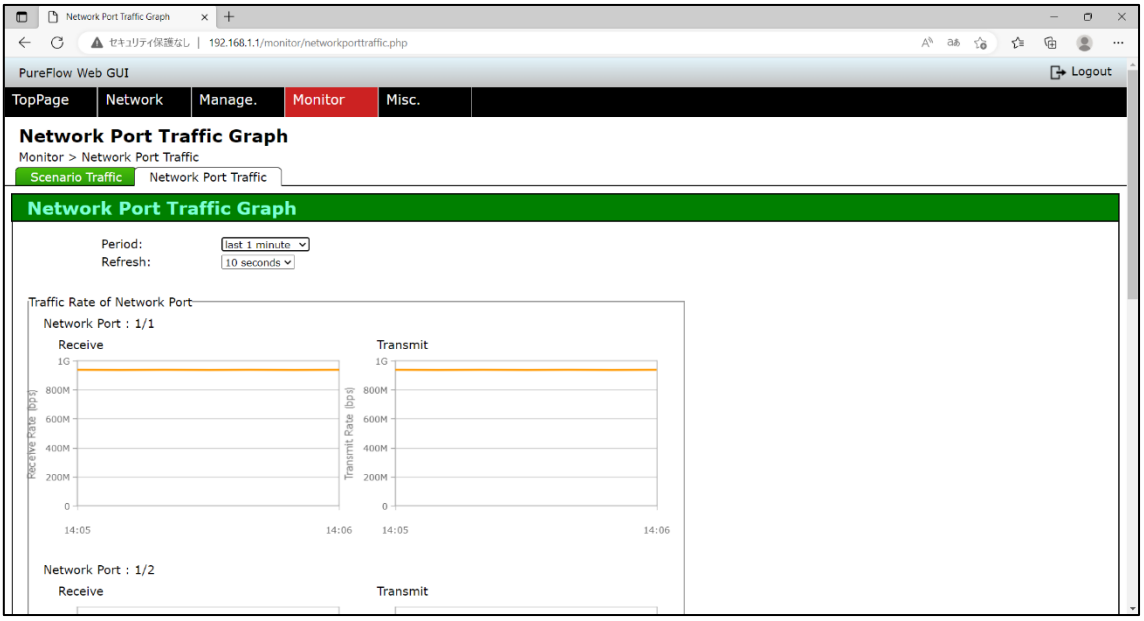
⑤『Refresh』の選択は以下の 4 種類になります。
※ off を選択した場合,画面描写は更新されません。

・off
・10 seconds (default)
・30 seconds
・60 seconds

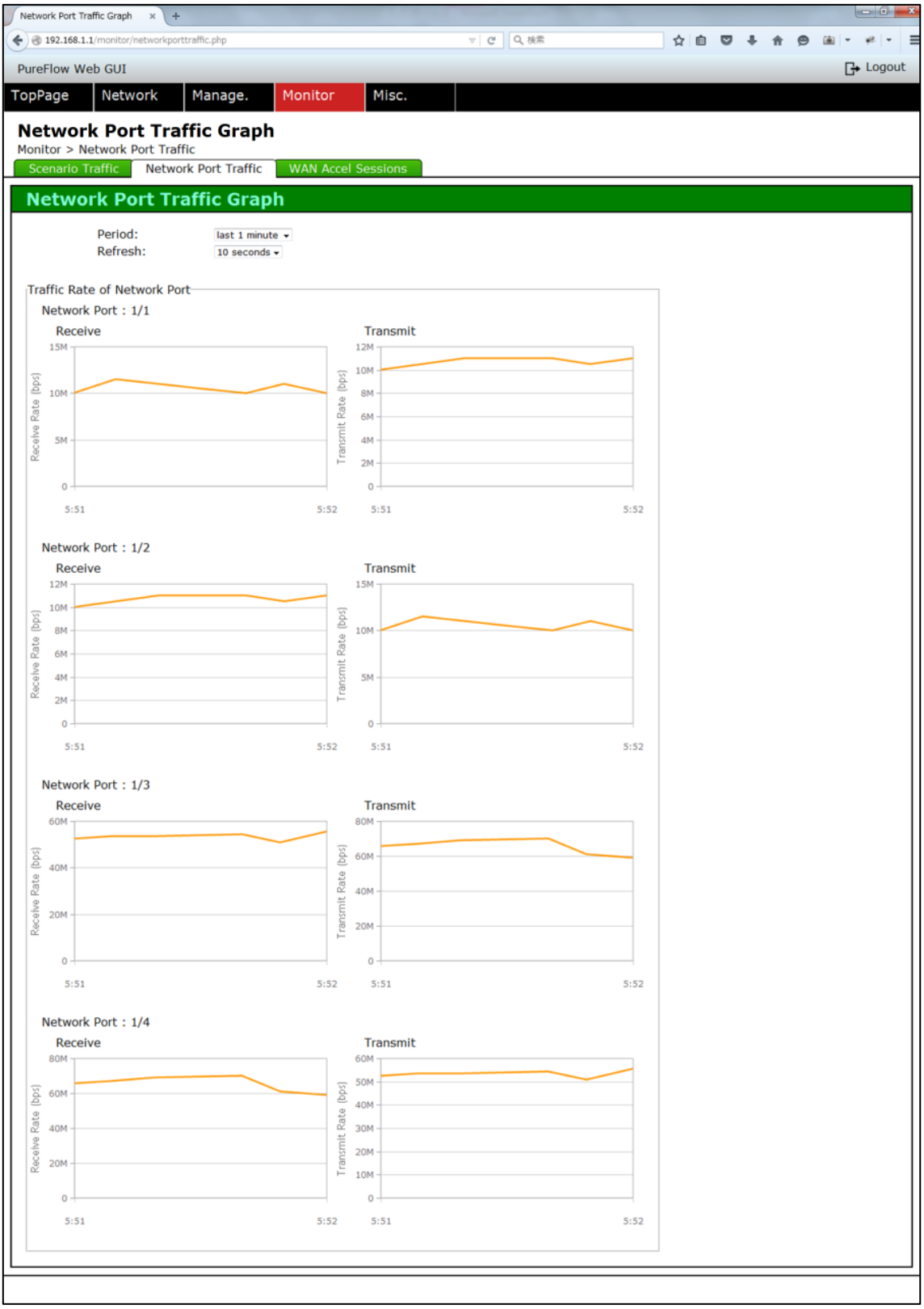


3.13 Network ポートトラフィックグラフの表示方法

Network ポートのトラフィックグラフを表示します。
画面左上の【Monitor】タブにマウスカーソルを合わせます。
Monitor メニューがプルダウン表示されるので，【Network Port Traffic】タブをクリックします。
以下のように，Network Port Traffic グラフ画面が表示されます。



『Network Port Traffic』ウィンドウ内に，Network ポート 1～4 の送信／受信トラフィックレートのグラフが表示されます。



また,『Network Port Traffic Graph』ウィンドウ内の①『Period』を変更することでグラフ表示範囲を,②『Refresh』を変更することで,グラフの描画周期を変更することができます。なお,グラフは『Period』や『Refresh』の指定に関係なく,10 秒平均(固定)のレート値で描画されます。

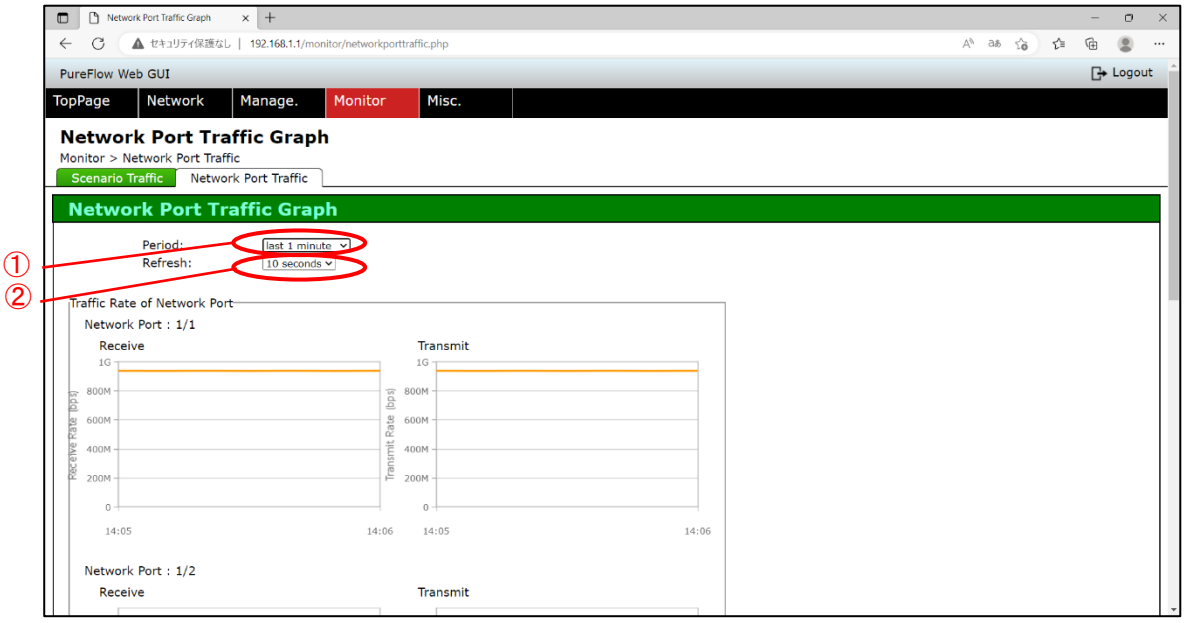
注:

別シナリオを選択した時点で過去のグラフ情報を削除し,新たに選択したシナリオのグラフを作成します。

複数のブラウザ画面でグラフを表示した場合,以下の動作となります。

・同一端末で,複数のブラウザ画面を開き,グラフ表示した場合でも,グラフ表示できるシナリオは 1 つとなります。

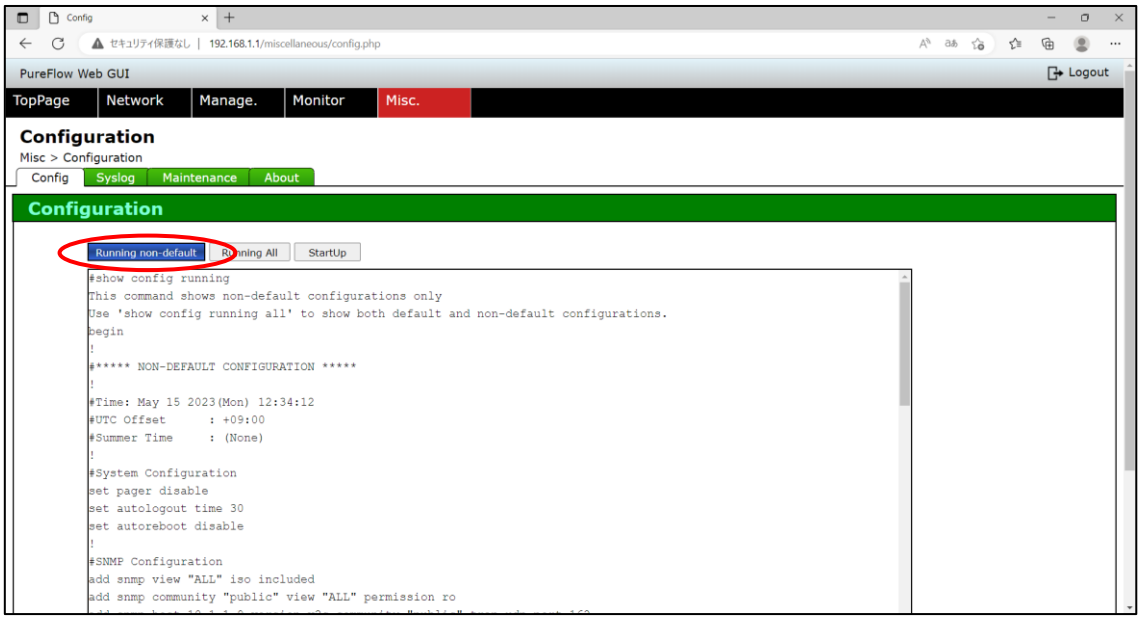
・異なる端末でグラフ表示した場合,それぞれで 1 シナリオ分のグラフを表示できます。



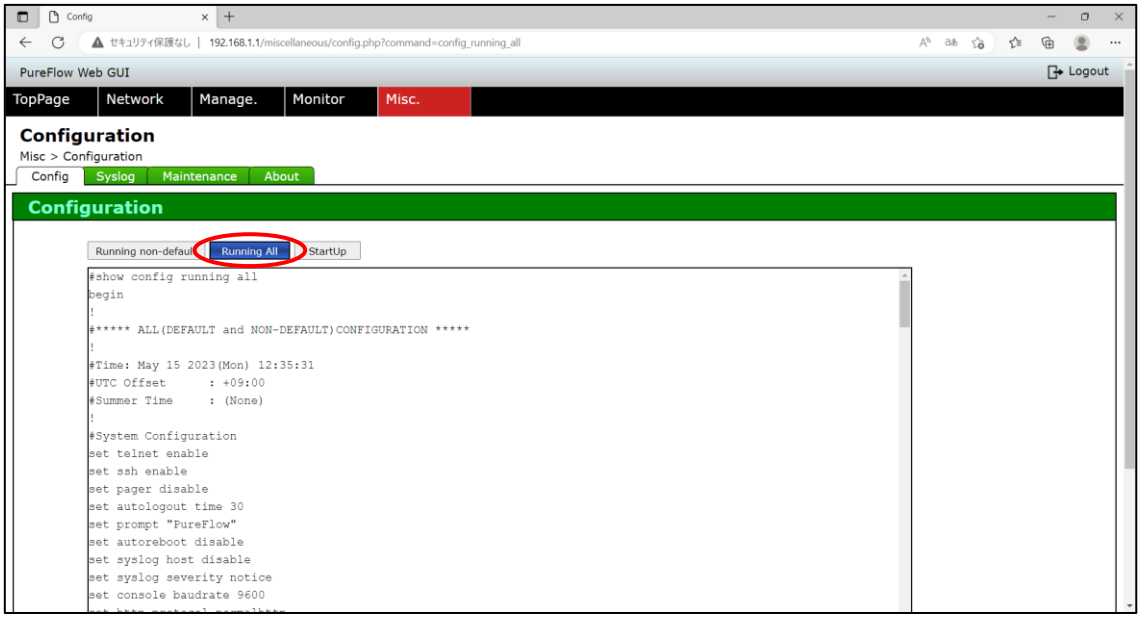
3.14 コンフィギュレーションの確認および保存方法

3.14.1　　コンフィギュレーションの確認方法

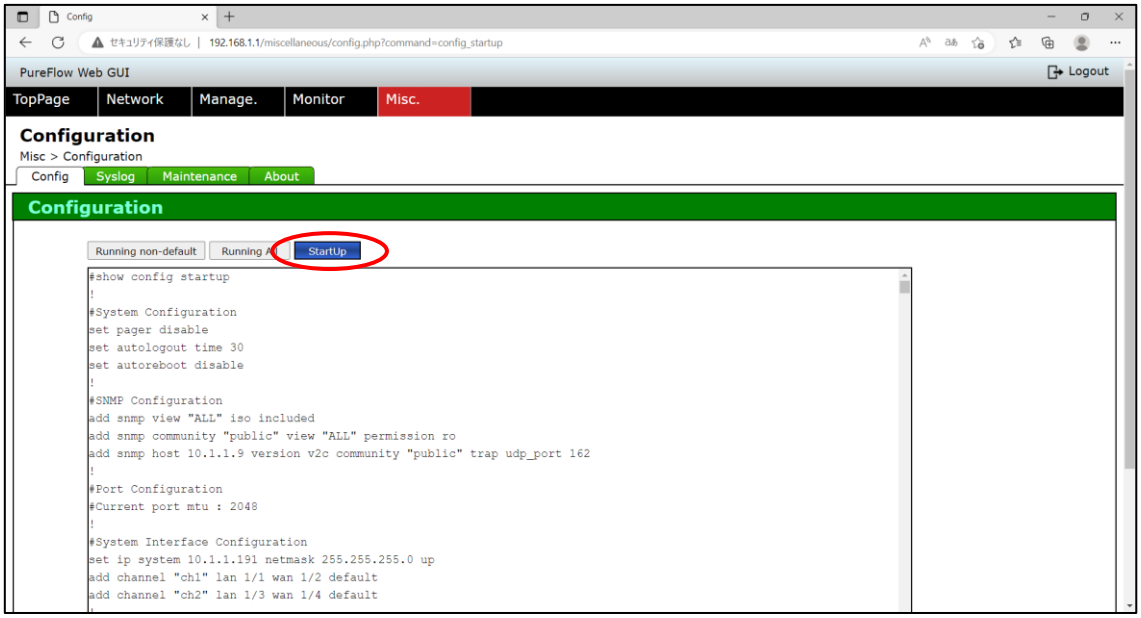
非デフォルトのコンフィギュレーション情報を表示します。
画面左上の【Misc】タブにマウスカーソルを合わせます。
Misc メニューがプルダウン表示されるので，【Config】タブをクリックします。
Config 情報画面が表示されます。
【Running non-default】ボタンをクリックします。
以下のように，非デフォルトのコンフィギュレーション情報が表示されます。



デフォルトと非デフォルトのコンフィギュレーション情報を表示します。
Config 情報画面で【Running All】ボタンをクリックします。
以下のように，デフォルトと非デフォルトのコンフィギュレーション情報が表示されます。

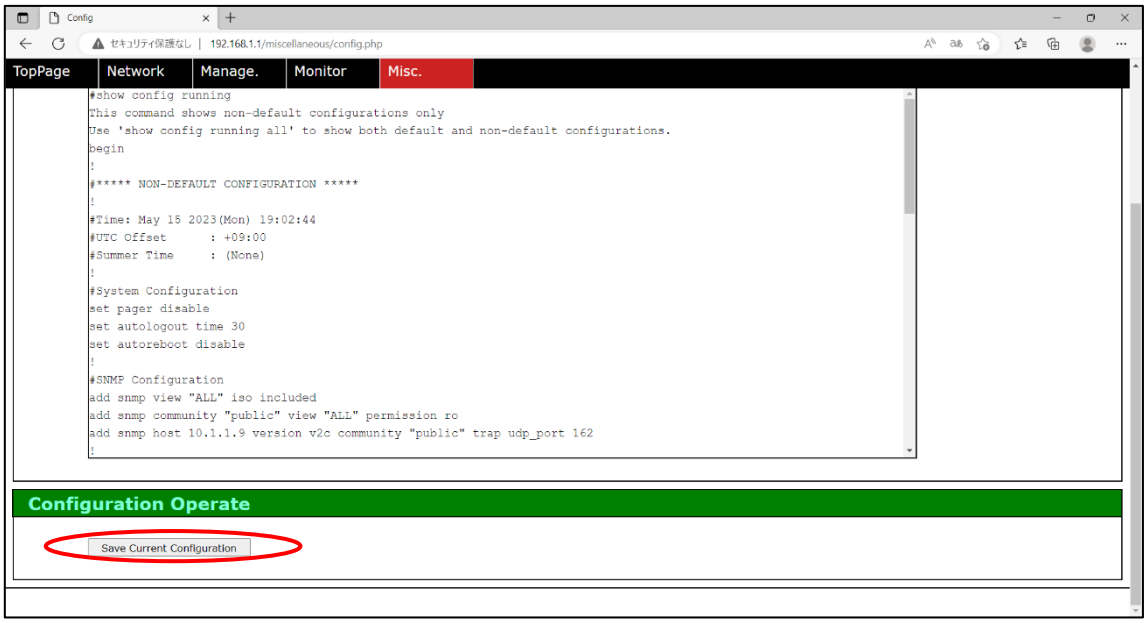


装置起動時のコンフィギュレーション情報を表示します。
Config 情報画面で【StartUp】ボタンをクリックします。
以下のように，装置起動時のコンフィギュレーション情報が表示されます。

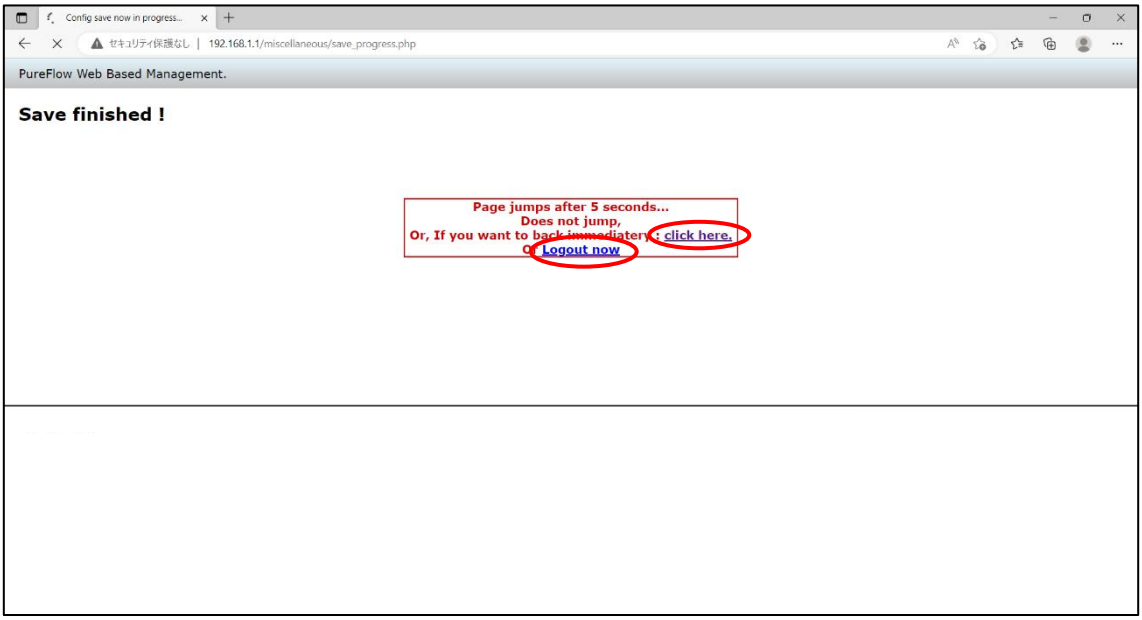


3.14.2　コンフィギュレーションの保存方法

現在のコンフィギュレーション情報を本装置の内部メモリに保存します。
Config 情報画面の下部で【Save Current Configuration】ボタンをクリックします。



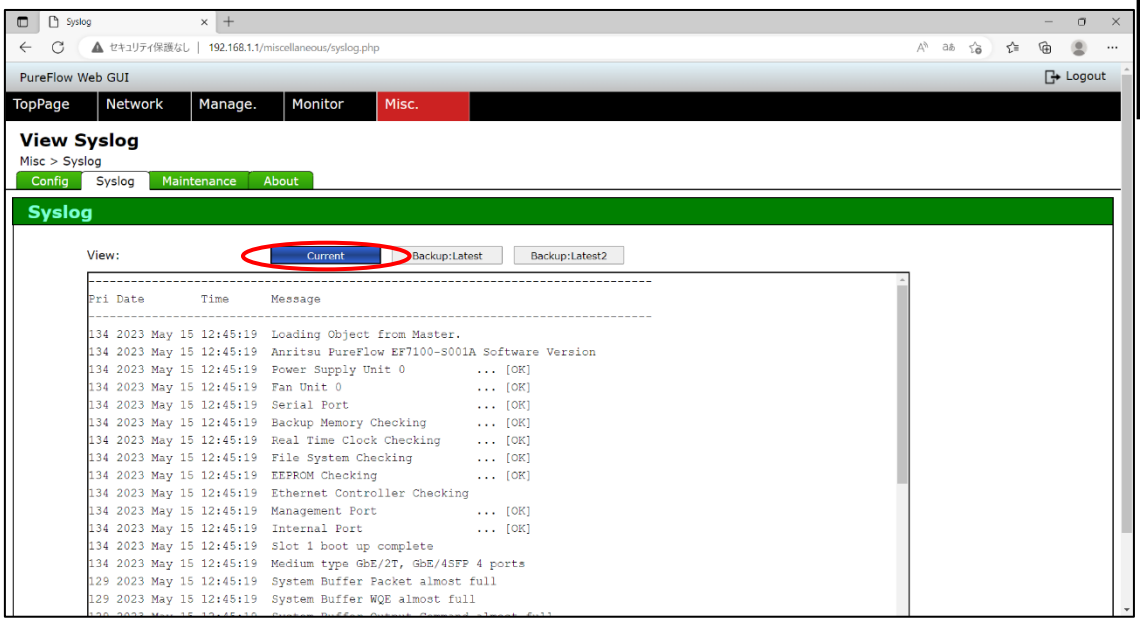
以下のように，保存が完了したことを示す画面が表示されることを確認します。



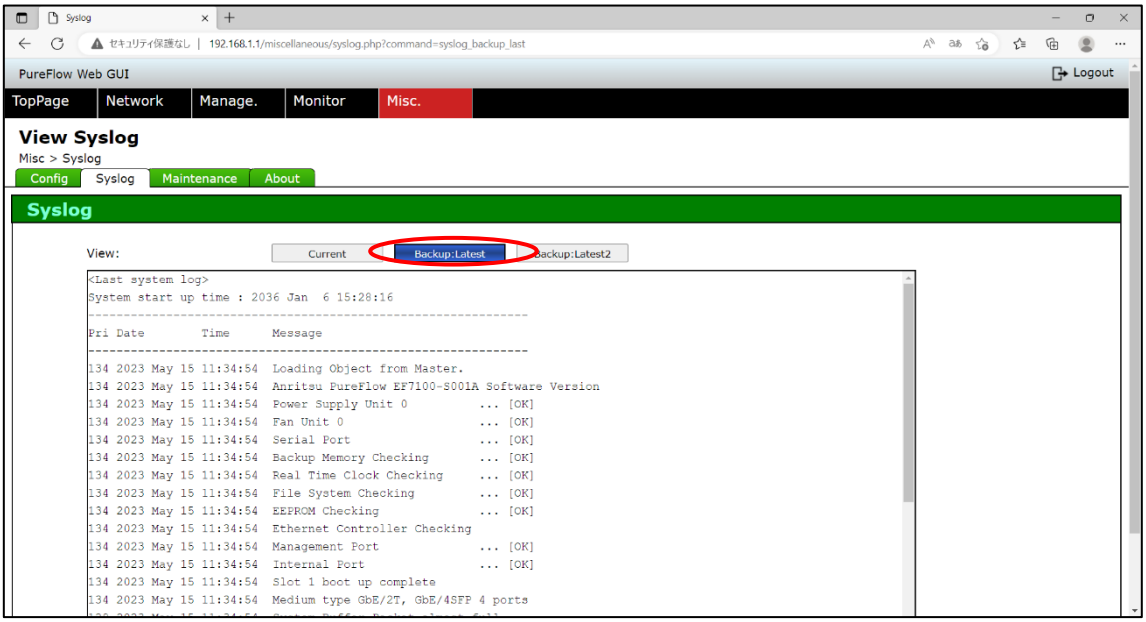
5 秒経過するか【click here】をクリックすると Config 画面に戻ります。
【Logout now】をクリックするとログイン画面に戻ります。

3.15 システムログの確認方法

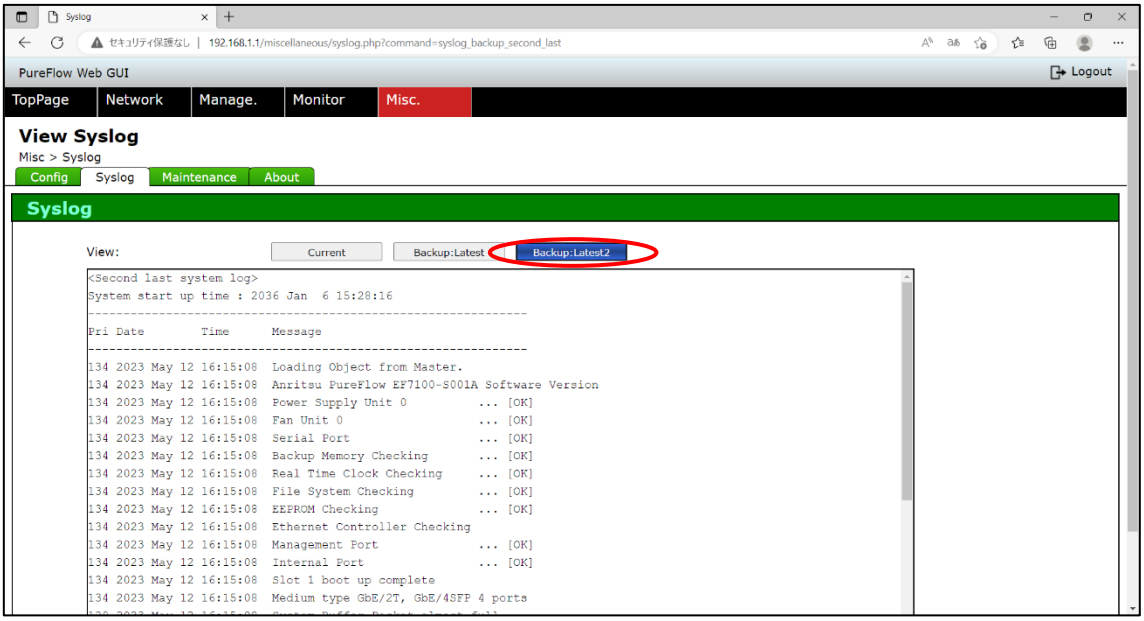
現在の装置稼働時のシステムログ情報を表示します。
画面左上の【Misc】タブにマウスカーソルを合わせます。
Misc メニューがプルダウン表示されるので，【Syslog】タブをクリックします。
Syslog 情報画面が表示されます。
【Current】ボタンをクリックします。
以下のように，現在の装置稼働時のシステムログ情報が表示されます。



前回の装置稼働時のシステムログ情報を表示します。
【Backup:Latest】ボタンをクリックします。
以下のように，前回の装置稼働時のシステムログ情報が表示されます。

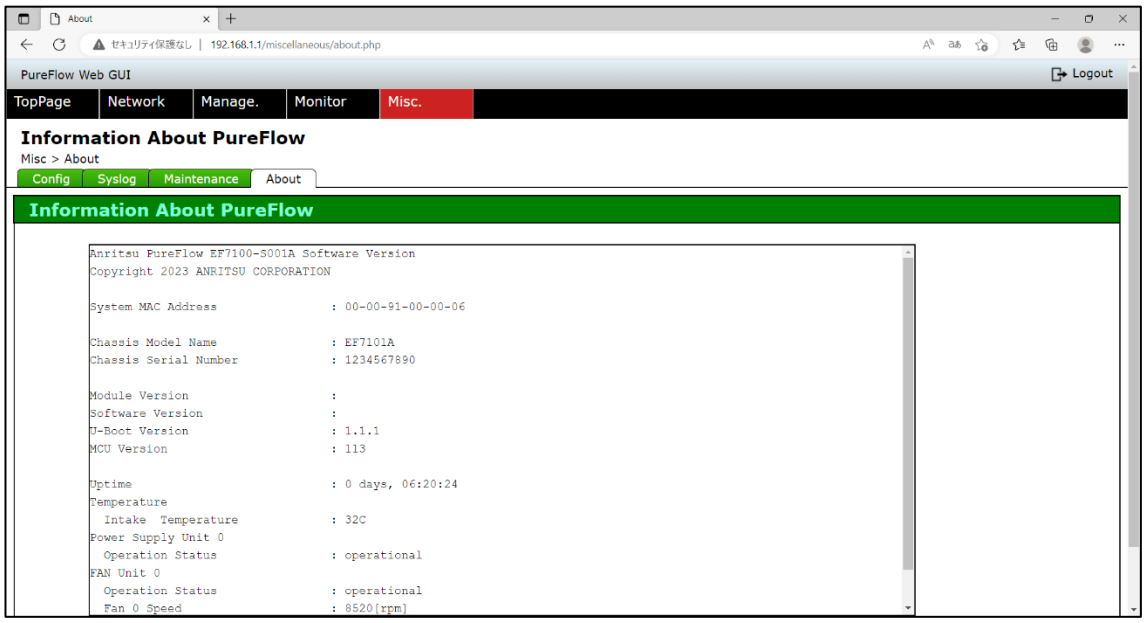


前々回の装置稼働時のシステムログ情報を表示します。
【Backup:Latest2】ボタンをクリックします。
以下のように，前々回の装置稼働時のシステムログ情報が表示されます。



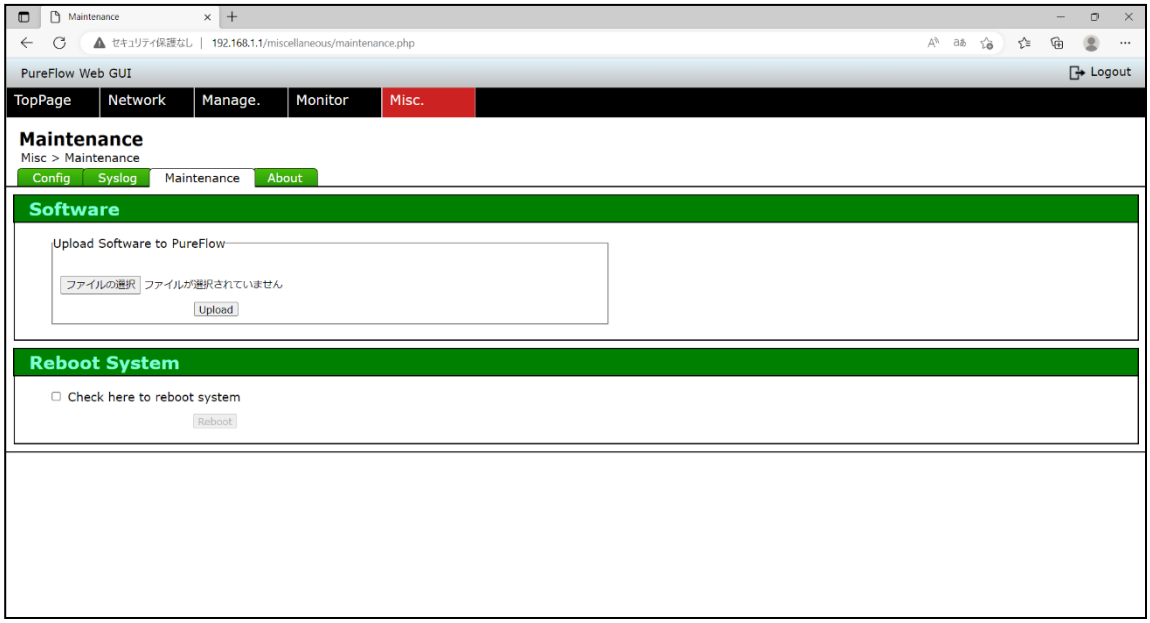
3.16 モジュール情報の確認方法

本装置のモジュール情報を確認します。
画面左上の【Misc.】タブにマウスカーソルを合わせます。
Misc.メニューがプルダウン表示されるので，【About】タブをクリックします。
以下のように，モジュール情報が表示されます。



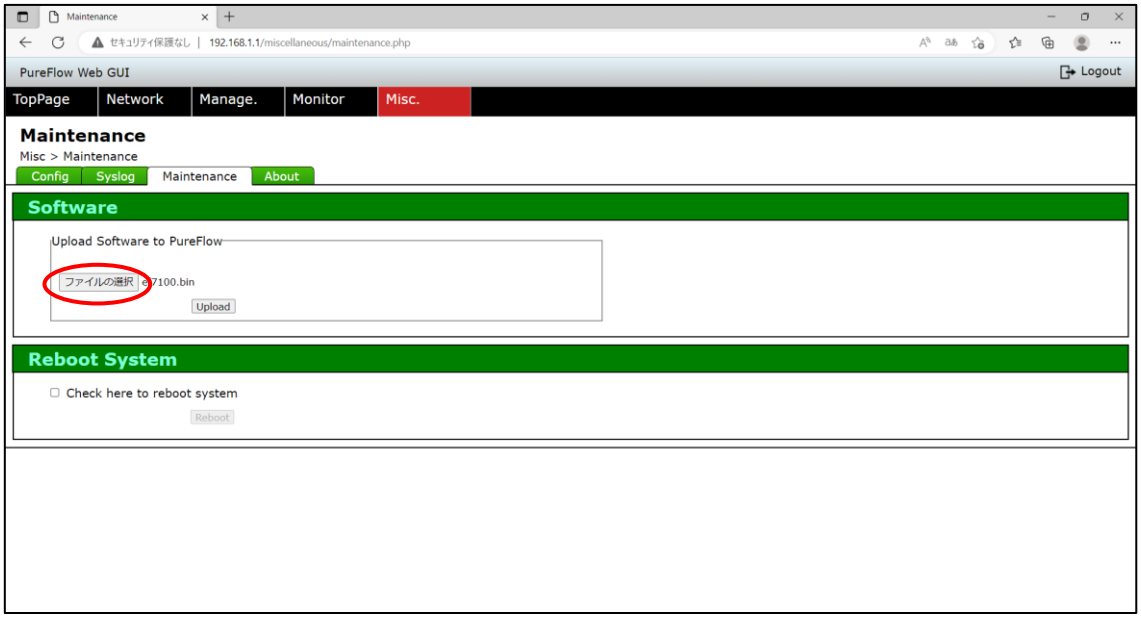
3.17 メンテナンス関連の方法

メンテナンスに関する操作を行います。
画面左上の【Misc】タブにマウスカーソルを合わせます。
Misc メニューがプルダウン表示されるので，【Maintenance】タブをクリックします。
以下のように，Maintenance 画面が表示されます。



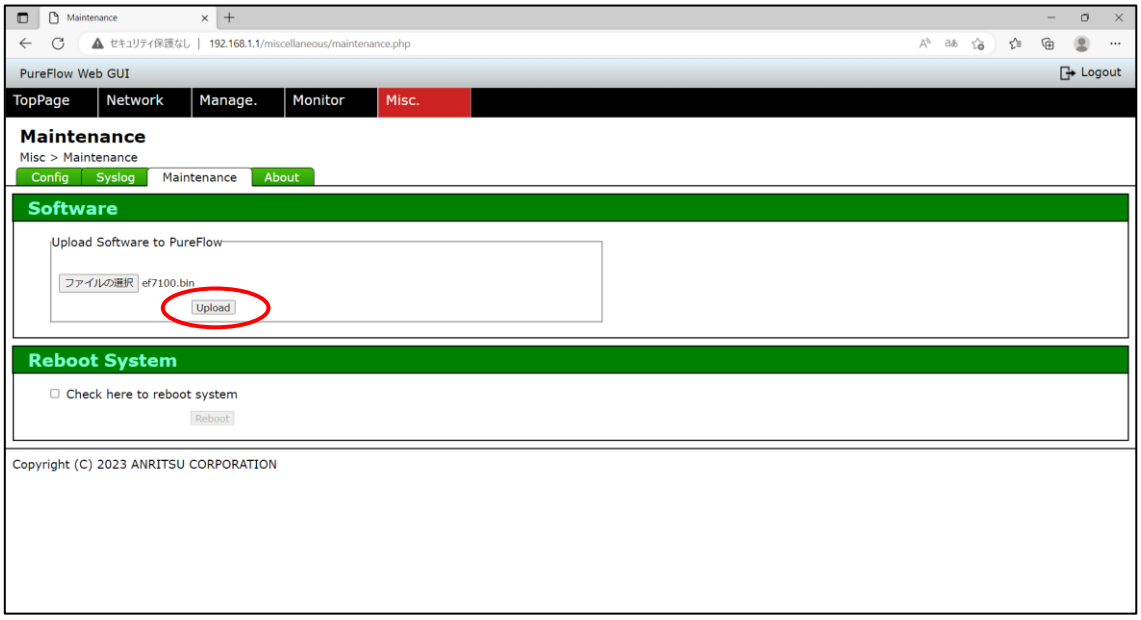
3.17.1　ソフトウェアアップロードの方法

新しいソフトウェア（ファイル名：ef7100.bin）を本装置にアップロードします。
『Software』ウィンドウ内の【ファイルの選択】ボタンをクリックすると，ファイルを選択するウィンドウが開きます。

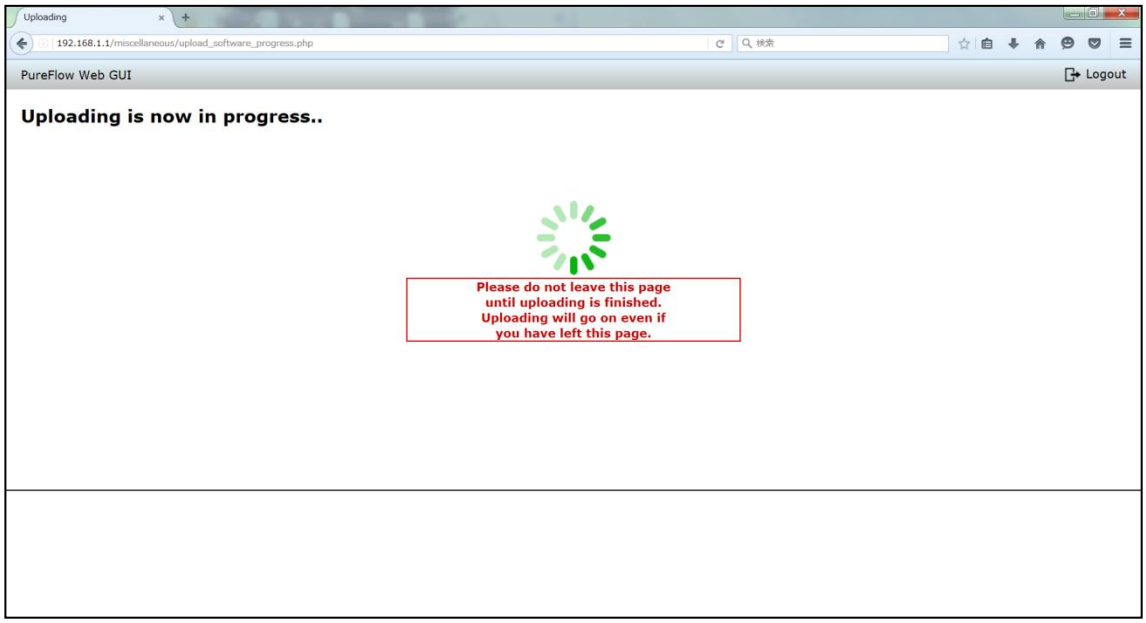


ファイルを選択すると，【ファイルの選択】ボタンの右側にファイル名が表示されます。
【Upload】ボタンをクリックすると，本装置へのソフトウェアの転送を開始します。

※ 転送中はほかの操作でページ移動しないようにしてください。アップロードが中断されます。その場合，再度アップロード作業をやり直してください。

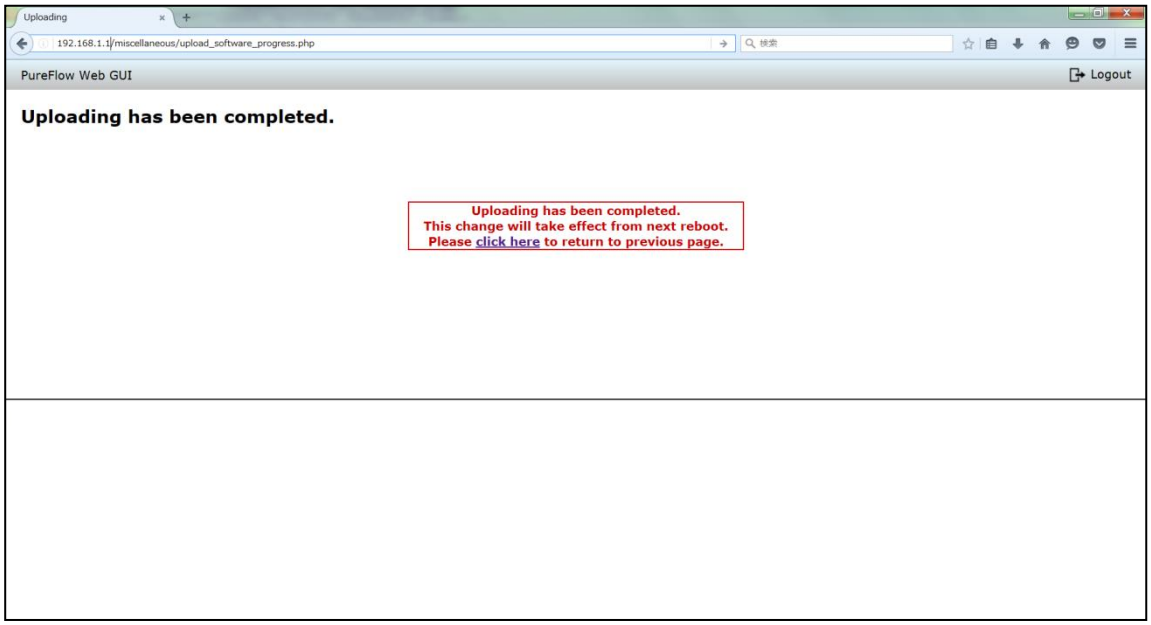


転送が完了すると，以下のようにソフトウェアのアップデート中を示す画面が表示されます。



バージョンアップ作業中は装置の電源が切断されないようにご注意ください。
万が一作業中に装置の電源を切断してしまった場合は，別領域に退避してある古いバージョンのソフトウェアを再ロードしますので，再度装置を起動してアップロード作業をやり直してください。

以下のように，アップロードが完了したことを示す画面が表示されることを確認します。

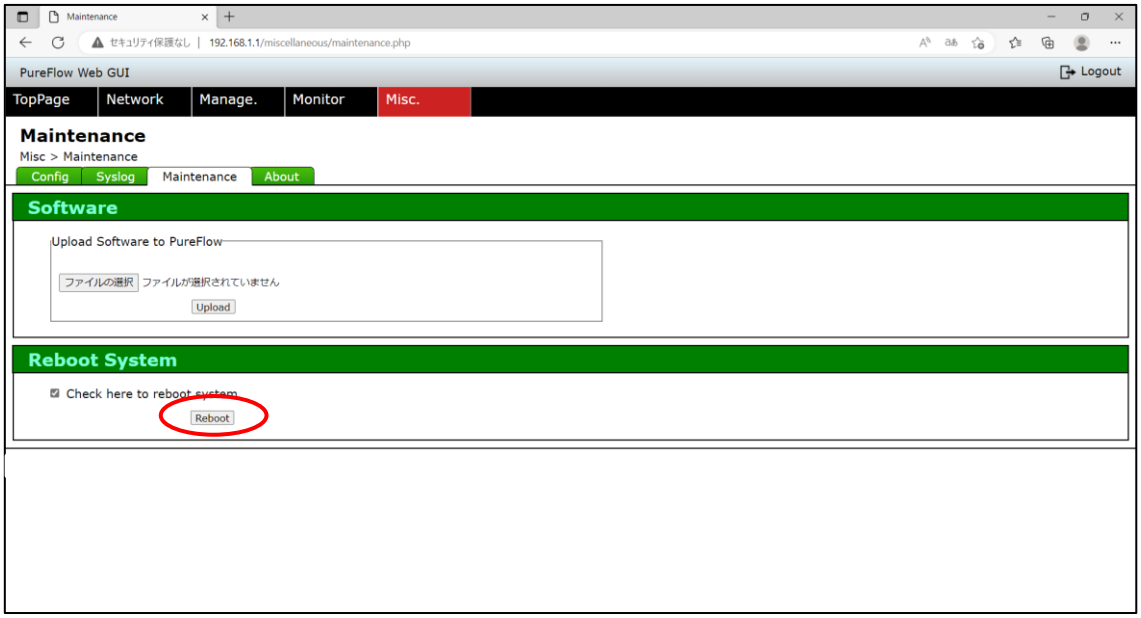


【click here】をクリックすると Maintenance 画面に戻ります。
アップロードが完了しても，新しいソフトウェアはすぐに反映されません。アップロードが完了したあとで，装置を再起動してください。

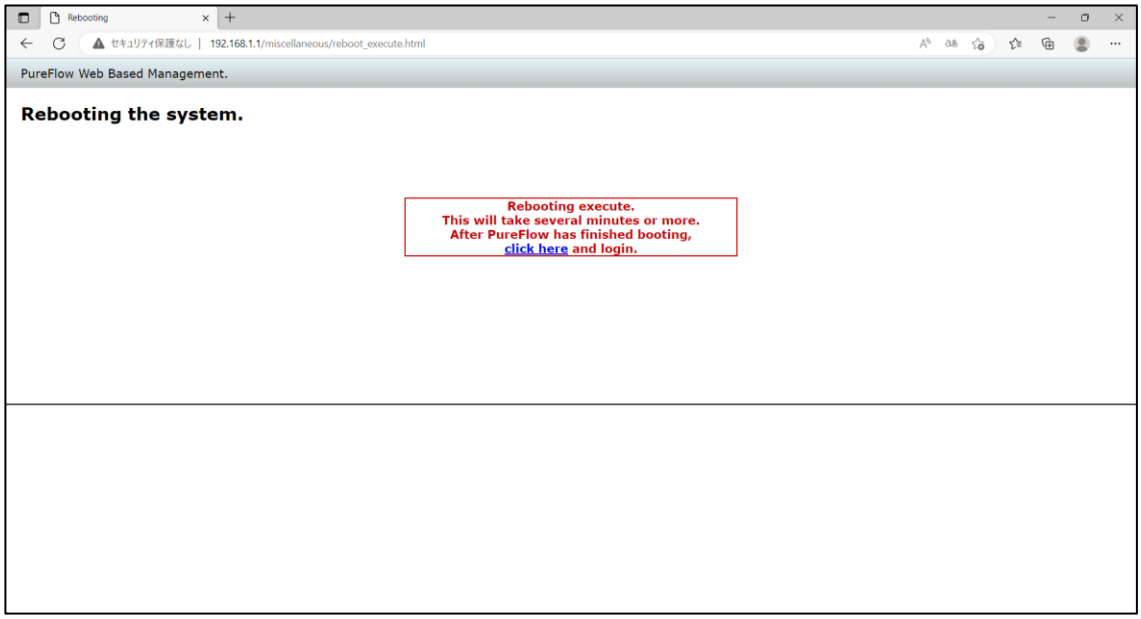
※ 当社指定の正規オブジェクトファイル（ファイル名：ef7100.bin）以外をアップロードしますと，装置が起動しません。上記のアップロード（Upload）で正規のオブジェクトファイル以外の誤ったファイルをアップロードしないようにご注意ください。誤ったオブジェクトファイルをアップロードした場合は，正規のオブジェクトファイルが入った SD カードまたは USB メモリを挿入して，装置を起動してください。その後，正規のオブジェクトファイルを再度ダウンロードしてください。
正規オブジェクトファイルの入手方法は，ご購入先にお問い合わせください。

3.17.2　装置再起動の方法

装置を再起動します。
『Reboot System』ウィンドウ内のチェックボックスをチェックすると，【Reboot】ボタンが有効になります。
【Reboot】ボタンをクリックすると，本装置が再起動します。



以下のように，本装置が再起動中を示す画面が表示されます。



装置再起動後は，再度，Web ブラウザを起動して，システムインタフェースで設定した IP アドレスを指定してください。本装置との接続が成功すると，ログイン画面が表示されます。

Anritsu

アンリツ株式会社

管理番号：
EF7100-W014J
Printed in Japan